

2024年3月25日

第50回 上小圏域障がい者自立支援協議会

委員会・部会 年度報告

目次

イ) 令和5年度 専門部会 重点報告

1. 人材育成専門部会	2
2. 就労支援専門部会	10

ウ) 令和5年度 委員会・専門部会 報告

3. 運営委員会	19
4. 緊急ショートステイ運営委員会	21
5. 障がい児者地域包括ケアシステム検討委員会	24
6. 医療的ケア児等支援連携推進委員会	33
7. 権利擁護委員会(虐待権利/差別解消)	40
8. 療育・発達専門部会	44
9. 地域生活移行専門部会	46

人材育成専門部会 年度報告

テーマ	1 主任相談支援専門員の機能と役割についての共有と実践 2 相談支援専門員の質の向上を目指した圏域内OJT体制の構築と検証・評価 3 圏域内における相談支援体制の充実に向けた検討
上小圏域第6期障害福祉計画重点施策の該当項目	○ 主任相談支援専門員の配置を促進するとともに、圏域内でのOJTの体制整備を図ります。

■活動予定

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
連絡会	部会		部会	説明会	広報 OJT BCP	部会 OJT	OJT	OJT	OJT	部会	

■活動内容

月	活動概要
機能強化型 連絡会 4月26日	令和5年度 機能強化型サービス支援費申請事業所連絡会 1. 令和4年度 振り返り 2. 令和5年度 各事業所の体制状況の報告と共有・地域生活支援拠点登録について 3. 実地教育に関する実施方法の整理・説明 場所：上田市役所 2階 会議室
第1回 5月9日	1. 令和5年度 人材育成専門部会 年間計画の検討及び部会員の紹介 2. 令和5年度 長野県相談支援従事者研修に向けた情報共有 3. 令和4年度 相談支援OJT体制整備事業の振り返りと令和5年度実践に向けての検討 場所：上田市ふれあい福祉センター 3階 研修室
第2回 7月10日	1. 令和5年度 長野県相談支援従事者初任者研修 実習体制について→ 2. 相談支援OJT体制整備事業の具体的実施に向けた検討 →全相談支援専門員の作成したサービス等利用計画を集約していくことを追加 3. 災害時を想定した圏域における相談支援体制の強化とBCP作成に向けて →「避難行動要支援者の避難取組研修」主催：日本相談支援専門員協会 9月29日（金） 場所：上田市西部公民館 4. 令和5年度 主任相談支援専門員 推薦の検討 → 令和5年度推薦者ナシ 場所：上田市ふれあい福祉センター 2階 市民ホール
説明会 8月25日	令和5年度 相談支援OJT体制整備事業実施に向けた説明会 →福祉計画を共有し、相談支援体制強化に伴う実施であることの目的を共有 緊急時を想定した連絡調整の実践研修→全相談支援事業所対象 →基幹のBCPとして、10月7日（土）に全相談支援事業所対象に通報訓練を実施 場所：上田市ふれあい福祉センター 2階 大会議室

第3回 10月2日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和5年度 長野県相談支援従事者初任者研修実習の振り返り→別紙 2. 令和5年度 長野県相談支援従事者現任研修 実施に向けて →日程及び受講生の共有、研修内容の確認と実習日程の調整等 3. 相談支援OJT体制整備事業の中間評価 →第1回振り返り及び第2回以降の実施に向けて 4. 災害時を想定した圏域における相談支援体制の強化とBCP作成に向けた中間評価 →9月28日研修振り返りと実施に向けた意見交換 <p style="text-align: right;">場所：上田市ふれあい福祉センター 2階 市民ホール</p>
第4回 2月5日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和5年度 長野県相談支援従事者現任研修実習の振り返り 2. 令和5年度 相談支援実地教育OJT体制整備事業 振り返り 3. 令和5年度 人材育成専門部会 振り返り <p style="text-align: right;">場所：上田市ふれあい福祉センター 2階 市民ホール</p>
R5年9月 R6年1月	<p>相談支援OJT体制整備事業の実施（予定）</p> <p>令和5年9月から令和6年1月（5か月）の間、月1回のOJT実施 （全相談支援事業所対象）</p> <p style="text-align: right;">場所：上田市ふれあい福祉センター・上田市役所会議室・東御市勤労者会館 他</p>

■考察・来年度に向けて

- ・相談支援事業所に対する体制整備を、今年度より人材育成専門部会に位置付けたことから、機能強化型サービス支援費申請事業所の連絡会を含め、部会以外にも相談支援体制整備に関する取り組みが年間を通してほぼ毎月開催された年度であった。
- ・法定研修と地域のOJT体制の整備の連動を踏まえた実習体制整備及び、第6期障害福祉計画に基づき実践を積み重ねてきた相談支援実地教育OJT体制整備事業は3年を終了し、圏域の相談支援専門員の実地教育に対する参加意識やスーパービジョンの実践など、圏域体制としては定着してきたと言える。一方で、第7期障害福祉計画における相談支援体制の成果目標に向かって次年度以降は、モニタリング検証を踏まえた圏域体制の仕組みを整備する側の理解促進を徹底していくと共に、具体的な評価指標を含めた内容検討を進めていきたい。また圏域内の目的ごと実施されているスーパービジョンの内容を整理し、効果的な実地教育体制及び相談支援体制強化を推進していくことを検討していきたい。

■参加機関

福祉事業所	主任相談支援専門員 5名 （相談支援事業所やすらぎ・相談支援センターほっと・ムネマル相談支援センター・つつじ・清泰会相談支援事業所）
行政機関	上田市障がい者支援課 東御市福祉課 長和町町民福祉課 青木村住民福祉課
部会長	丸子地域自治センター市民サービス課 係長
事務局	上小圏域基幹相談支援センター

現任研修まとめ及び主任活動実績について

■令和5年度 長野県相談支援従事者 現任研修 受講生

相談支援業務従事者

上田市9名 東御市1名 計10名

市町村	事業所名	備考
上田市	特定非営利活動法人わっこ自立福祉会 ピアサポートわっこ	
	医療法人友愛会 相談支援事業所 やすらぎ	
	社会福祉法人上田明照会 相談支援センターほっと	
	社会福祉法人上田明照会 相談支援センターほっと	
	社会福祉法人かりがね福祉会 つつじ	
	社会福祉法人かりがね福祉会 つつじ	
	株式会社和楽座 和音	
	社会福祉法人上田市社会福祉協議会 丸子介護相談支援センター	他事業所にて 相談に従事
	株式会社ウォームブランケット リズム	他事業所にて 相談に従事
東御市	社会福祉法人ちいさがた福祉会 さんらいずホール	

多業務従事者

上田市7名 東御市1名 計8名

事業所名
社会福祉法人上田しいのみ会 しいのみ療護園
合同会社遊心道
社会福祉法人上田しいのみ会 上田しいのみ園
社会福祉法人カルディア会 アネモス
ワズ株式会社 ワズ アドバンス
社会福祉法人カルディア会 上田いずみ園
社会福祉法人りんどう信濃会 上田悠生寮
特定非営利活動法人普通の暮らし研究所 岩井屋こども館

■令和5年度 長野県相談支援従事者 現任研修 実習実績

<p>【実習課題①】意思決定支援に特化したスーパービジョンの展開</p>	<p>演習1日目で個別支援（意思決定支援）に関する明確化した課題の解決に向けて、地元圏域へ戻り、基幹相談支援センター等（委託相談支援事業所含む）により、スーパービジョンの体験をする。</p>
--------------------------------------	---

日時：10月23日（月） 9:30～16:30

10月25日（水） 9:30～16:30

場所：上田市ふれあい福祉センター 会議室（市民ホール・ピアカウンセリングルーム）

方法：受講生1名に対し、主任相談支援専門員および基幹相談支援センター相談支援専門員による個別スーパービジョンの実施

参加者：受講生 18名（全員参加）

<p>【実習課題②】地域における相談支援体制および（自立支援）協議会の理解</p>	<p>基幹相談支援センター等（圏域内基幹相談支援センター又は、委託相談支援事業所・協議会事務局委託事業所）にアクセスし、自立支援協議会参加等体験</p>
---	--

日時：11月29日（水） 9:30～12:00

場所：丸子地域自治センター 4階 講堂

方法：上小圏域の相談支援体制と自立支援協議会の説明講義ののち、ワールドカフェにて各専門部会の実施状況のレクチャーを受ける。

参加者：受講生 18名（全員参加）

■令和5年度 主任相談支援専門員の主な活動実績

1 法定研修（相談支援従事者初任者研修・現任研修）

《初任者研修》R5年7月～9月

演習講師

実習受入（個別SV・社会資源調査）

《現任研修》 R5年9月～R5年12月

実習受入（個別SV・協議会参加体験等）

※ 講師実践に当たっての圏域内研修を実施

2 相談支援OJT体制整備事業 R5年9月～R6年1月

（全5回）

・GSV実践に当たってのスーパーバイザー
（ファシリテーター）

※ スーパーバイザー実施に当たって事前学習を実施

※ GSV実施に当たっての事前打合せ（個別SV）

3 上小圏域障がい者自立支援協議会人材育成専門部会

部会員として参加（年4回）

4 長野県自立支援協議会

障がい者相談支援体制等機能強化会議 参加

R5年5月16日（火） 13:30～15:30

R6年2月13日（火） 13:30～15:30

5 研修参加

《全国基幹相談支援センター強化研修》

R5年8月2日（水） 14:15～17:15

R5年9月1日（金） 14:15～17:15

6 厚生労働省 科学研究事業

《障害分野の研修及び実地教育（OJT）の効果の検証及び効果的な実施のための要因解明のための研究》

・実践報告会（上小圏域の実践報告）

R5年12月22日（金）13:30～17:00

・熟達者の面接場面におけるアセスメント思考調査

R5年11月～R6年1月

相談支援実地教育（OJT）体制整備事業 令和3年度～5年度の実践結果

■参加状況詳細

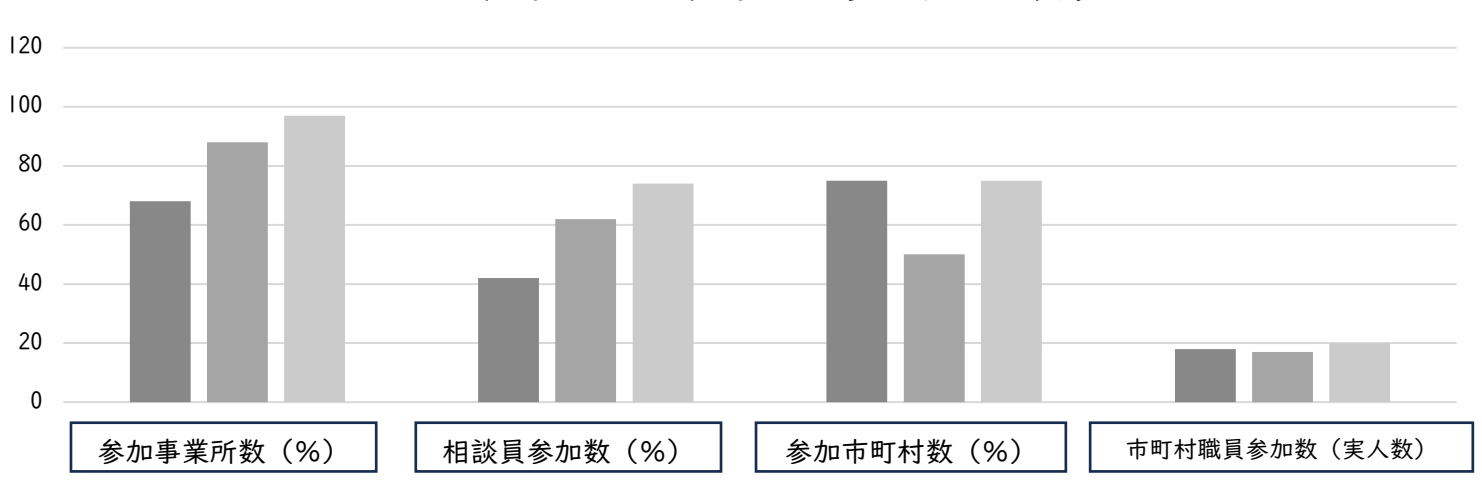
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
【全体参加状況（実数）】			
参加事業所数	24事業所（全35事業所） 参加率 68%	32事業所（全36事業所） 参加率 88%	36事業所（全37事業所） 参加率 97%
参加相談員	34名（全80名） 参加率 42%	50名（全84名） 参加率 62%	55名（全74名） 参加率 74%
市町村	3市町村（全4市町村） 参加率 75%	2市町村（全4市町村） 参加率 50%	3市町村（全4市町村） 参加率 75%
市町村参加者	18名	17名	20名

【全体参加状況（延べ人数）】

参加事業所数	45事業所	76事業所	110事業所
参加相談員	53名	93名	98名
市町村参加者	27名	23名	23名

※基幹相談支援センターを除く（事業所・相談員とも）

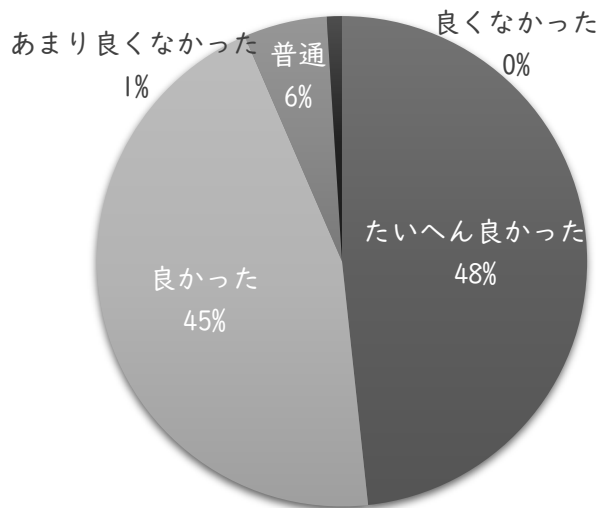
令和3年度～令和5年度 OJT参加状況比較表



■参加状況における考察

- ・令和3年度から継続して実践をしてきたことにより、参加率は確実に上昇している。特に事業所参加率が97%まで達成出来たことは、地域においてOJTの仕組みが定着してきたと考察出来る。
- ・相談支援専門員の参加率も同様に上がってきているが、74%の留まっている要因として考えられることは、事業指定の際に相談支援専門員として登録しているものの相談支援業務に従事されていない、または兼務により相談支援業務に従事出来ない方が絶対数存在しており、その方々は実践がないためOJTに参加することが出来ていない。逆に考えると、相談支援業務に従事されている相談支援専門員の参加率は向上しているものと考えられ、実務者の確認をしていくことで見えてくるものと考えられる。
- ・市町村参加率については、モニタリング検証の位置づけとして体制整備をしてきた本事業の目的を再共有していく必要がある。

■令和5年度 全体評価



全体評価内訳 (%)

①ファシリテーター

大変良かった	良かった	普通	あまり良くなかった	良くなかった	合計
18.8	56.3	21.9	3.1	0	100

②事例提供者

大変良かった	良かった	普通	あまり良くなかった	良くなかった	合計
50	47.1	2.9	0	0	100

③グループメンバー

大変良かった	良かった	普通	あまり良くなかった	良くなかった	合計
54.9	42.1	2.2	0.8	0	100

④全体

大変良かった	良かった	普通	あまり良くなかった	良くなかった	合計
48.2	45.2	5.5	1	0	100

■全体評価に対する考察

- ・全体評価は「大変良かった」「良かった」が93.4%となっている。各役割別にみると、事例提供者及びグループメンバーが共に97%に達している反面、ファシリテーターの評価が75.1%に留まっている。
- ・グループスーパービジョン（GSV）におけるファシリテーターは課題の焦点化、発言者の公平性、タイムキープ、議論の修正など様々な技術を要する役割であり、そのスキルによってGSVの質が変化するため、実践を重ねる毎に自らのファシリテートのスキルアップの必要性を実感されているとの声も多く、GSV全体というよりはファシリテート技術に対する評価としての数値であったことから他の役割より評価が低くなっていると考察出来る。
- ・全体としては参加者の大多数が自らの支援の振り返りや気づきを得られたことを実感されているため、スーパービジョンの実践としては評価すべき内容であると思われる。

■所属ごとの気づき・感想（抜粋）

※実践後の振り返りシート及びケアマネジメント連絡会等での意見交換の内容含む

《相談支援専門員（特定）》

- ・ファシリテーターの進め方が大事だと思った
- ・他の相談支援専門員の作成した計画は毎回参考になる
- ・事例提供者は要点をまとめて報告出来るようになりたい
- ・一人職場なので、この機会をととても有難く感じている
- ・緊張するが、終わったあとは心が軽くなる
- ・受容的な中での検討は心が和む
- ・事例提供者の資料提出の方法を検討してほしい
- ・チームで考える心強さを感じた
- ・最初事例提供はドキドキだったが、今は「さあ、皆さん一緒に考えて！」と前向きに参加できる
- ・知らない社会資源を伺うことが出来て有難い
- ・もう少し掘り下げたい事例があった
- ・自分の考えの整理にGSVはとても良い機会だと感じる

《行政》

- ・ 継続していくことに意味があることを再理解した
- ・ 一人暮らし＝リスクと捉えがちであるという自分の思考の癖に気づいた
- ・ 相談員に丸投げしてしまっている部分もあるため、行政として一緒に考えていけるように意見を深めたい
- ・ OJT をきっかけに相談支援専門員との関係性が築け、日常的な連携がしやすくなった
- ・ 表現できない本人の思いを汲み取ることの大切さを実感した
- ・ アイデア実践後の報告を是非継続してほしい
- ・ 全体的には良い雰囲気だったが、自分の発言が少なかったことが反省
- ・ 相談支援の大切さと大変さを再認識した

《主任相談支援専門員（基幹・特定）》

- ・ 行政と一緒に実施することが、支援を良い方向へと導くものと感じる
- ・ 欠席者、遅刻者が多いと全体に影響が出る。
- ・ GSV の経験値に差があるため、ホワイトボード記載は良かったと思う
- ・ 得意分野は深く入り込み過ぎる等、全体をみてアイデアを出す為に繰り返しの実践が必要
- ・ 事例提供者の抱える課題をもう少し焦点化できるスキルが欲しい
- ・ GSV 中でのファシリテーター技術（場の雰囲気づくり、発言の偏りの整理など）をあげていきたい
- ・ スーパービジョンの目的や進行スキルを年度初めに勉強会をしてほしい
- ・ 事前の打合せ（個別 SV）の重要性を再認識、是非スキルアップのための工夫を次年度検討していきたい
- ・ バイジー養成も必要

相談支援実地教育（OJT）体制整備事業 3年間の実践（第6期福祉計画）の 振り返りおよび次年度以降（第7期福祉計画）において

■相談支援実地教育 OJT 体制整備の実施における目的と獲得目標（令和5年度）

- 1 相談支援専門員が自身の作成したサービス等利用計画をグループスーパービジョンにて共有することで、新たな気付きを得ることができる
- 2 他の相談支援専門員のサービス等利用計画を共有することで、自らの計画相談支援に対する気づきを得ることができる
- 3 相談支援従事者法定研修（新カリキュラム）にて導入されているグループスーパービジョンを地域実践として構築できる
- 4 スーパービジョンにおける一連の流れ（FT と事例提供者の事前打ち合わせ・GSV ・アイデア実践・報告）を確立し、スーパービジョンの手法が定着できることを期待する
- 5 主任相談支援専門員はスーパーバイザーとしてグループスーパービジョンをファシリテートする実践体制を構築できる
- 6 相談支援専門員は主任相談支援専門員と繋がりを持つことができる
- 7 相談支援専門員は他事業所の相談支援専門員や基幹相談支援センターと繋がりを持つことができる
- 8 市町村は計画相談支援の実践を共有することができ、ケアマネジメントにおけるプロセスを学ぶことができる
- 9 全相談支援専門員は GSV の事例提供者に限らず自身の作成したサービス等利用計画を提供することにより公平性を担保し、実地教育（OJT） の検証ツールや地域課題や個別課題に着目することができる

■3年間の実践と次年度に向けて

- ・「相談支援体制の充実・強化等」は第6期障害福祉計画および第2期障害児福祉計画に新しく盛り込まれた成果目標であり、新たに圏域としてその仕組みを構築することを令和3年度から検討と実践を開始し、試行錯誤しながらも継続してきたことにより、上記目的や獲得目標の1~8までは概ね達成できた。日々の相談支援専門員との連携の中からも特に一人職場の相談員からの評価は高く、継続を希望する声も多い。一方では機能強化型サービス支援費申請事業所は毎月の事例検討もあることから業務過多となっている懸念あり、次年度以降は本事業を含めた圏域全体での OJT の仕組みの整理が必要である。
- ・9に関しては令和5年度に掲げた目標であるが達成することが出来なかったため、次年度の再検討課題とする。
- ・本事業は「モニタリング検証」としての位置づけとして実践をしていることから、市町村の積極的介入と「相談支援専門員の行動変容」「利用者支援の充実」についての評価方法を検討し、「利用者中心のケアマネジメントの実践」を目指していく。

就労支援専門部会 年度報告

テーマ	<ol style="list-style-type: none">就職困難性を抱える方の就職及び定着促進【就労支援者研修】 障がいのある方が自分の状況を振り返り見える化した「情報共有シート」の普及を図る為、支援機関向けの研修会を開催する。職場の理解促進【中小企業雇用管理担当者研修】 障がい者が離職する理由を検証し、雇用管理担当者向けの研修会を開催する。「障がい者雇用に関する事業所アンケート(令和3年度実施)」結果に基づき、企業側が考える課題への対応策や求める支援に対する方策を検討するとともに、企業等を訪問し好事例の収集を行う。
上小圏域第6期障害福祉計画重点施策の該当項目	○就労系事業所における情報共有ツールの普及に努め、一般就労希望者の支援と定着率向上を図ります。

■活動予定

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		部会	研修				研修	部会 研修		部会	研修

■活動内容

【就労支援部会】

月	活動概要
第1回 6月12日	令和4年度活動報告 1. 令和5年度活動計画について意見交換 2. 公共職業安定所上田管内の雇用情勢について 3. 各支援機関より報告 他 場所：上田市ふれあい福祉センター2階大会議室
第2回 12月5日	令和5年度中間報告 1. 各関係機関より報告 2. 就労支援者研修(SST)「利用者のつながる力」をともに育むSST 講師：白石 真樹氏 参加者：合同会社リベレイター、組織開発コンサルタント、 ジョブカフェ信州就労支援地域アドバイザー 長野県教育委員会 SST 講師、長野県東信労政事務所特別相談員など 場所：上田市ふれあい福祉センター2階大会議室
第3回 2月21日	令和5年度活動報告 1. 公共職業安定所上田管内の雇用状況について 2. 上田養護学校在校生の状況について 3. その他報告 4. 意見交換、質問など 場所：上田市ふれあい福祉センター2階大会議室

テーマ③

- ・障がい者雇用に関する事業所アンケート(令和3年度実施)結果に基づき、企業側が考える課題への対応策や求める支援に対する方策を検討するとともに、企業等を訪問し好事例の収集を行う。

具体的 取り組み (2/15 現在)	企業定着支援訪問 93 事業所 (310 件) 障がい者雇用における相談 274 件 障がい者雇用フォーラム参加 2 名 障がい者就業・生活フォーラム参加 1 名 企業セミナー(中ぽつ事業・短期トレーニング)への参加 就労定着支援研修受講 2 名 就労系福祉サービス事業所訪問 7 事業所
--------------------------	--

■考察・来年度に向けて

就労支援部会では障がいのある方が長く働き続けられるために必要な環境作りを行っている。

テーマ①支援機関向けの研修会は、今後に向けて特に重点的な取り組みが必要であるという認識から今年度は開催数を増やした。「就労パスポート」研修は公共職業安定所の指導官を講師に招き、令和元年から継続的に開催し就労パスポートの普及を図っている。次年度は就労アセスメントに重点を置き、研修内容を吟味し支援者研修を年2回の開催予定している。

テーマ②リワーク研修は、今年で4年目となり、継続課題として取り組んでいる。ニーズもあるが、個別のケースへの困り感が多い為、リワークにおいての対応を検討していく。今年度テーマに掲げた「ディーセントワーク」は、今後の障がい者雇用を進める上で大切な視点となる。次年度の研修内容は検討中。企業の環境整備や企業内でのサポートについても重要課題である。

テーマ③令和3年に事業所アンケートを行い、101社から得られた回答を基に障がい者雇用における課題を抽出した。企業への定着訪問、支援相談に応じ、課題への対応策等を助言してきた。また、研修やフォーラムに参加し、好事例などの情報収集をおこなってきた。

次年度は、テーマ①と②の研修会の内容を再考し、効果的且つ興味を抱くような研修を開催していく。テーマ③については、圏域の企業で取り組んでいる業務の切り出し方法や、職場の対応など、好事例を収集し、それらをまとめ企業や支援機関に還元していく。

■参加機関

福祉・就労 支援機関	若者サポートステーション、上田市生活就労支援センター、東御市生活就労支援センター、就労定着支援事業所、就労移行支援事業所、就労継続支援A型事業所、就労継続支援B型事業所
医療機関	千曲荘病院 鹿教湯病院 三才山病院
教育機関	長野県上田養護学校、長野県佐久技術専門校、長野大学
行政機関	長野県上田保健福祉事務所福祉課、長野県上田地域振興局、長野県長野地域振興局、上田市福祉部障がい者支援課、上田市丸子地域自治センター市民サービス課、上田市真田自治センター市民サービス課、上田市武石地域自治センター市民サービス課、上田市商工観光部地域雇用推進課、東御市福祉部福祉課、長和町町民福祉課、青木村住民福祉課
部会長	東御市健康福祉部福祉課福祉援護係 係長
副部会長	上田公共職業安定所 就職促進指導官
事務局	上小圏域障害者就業・生活支援センターSHAKE

令和5年度 上田所管内の障害者雇用状況

上田公共職業安定所

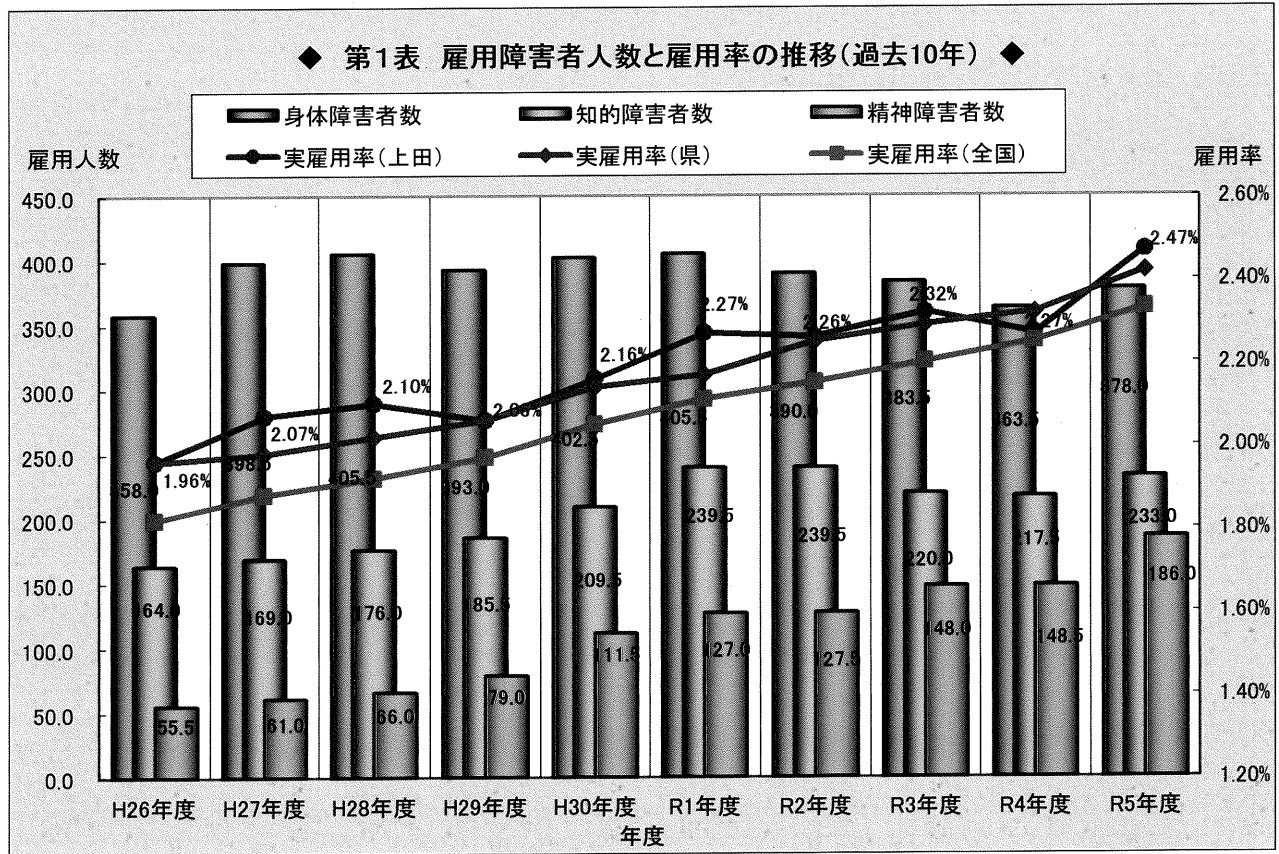
雇用障害者数は797.0人、実雇用率は2.47%

確報<各年6月1日現在>

第1表 障害者雇用数と雇用率の推移（過去10年間）

	雇用障害者数				雇用率比較			《参考》 法定雇用率
	身体障害者数	知的障害者数	精神障害者数	障害者合計	実雇用率(上田)	実雇用率(県)	実雇用率(全国)	
H26年度	358.0	164.0	55.5	577.5	1.96%	1.96%	1.82%	2.0% ↓ 2.2% ↓ 2.3% ↓
H27年度	398.5	169.0	61.0	628.5	2.07%	1.98%	1.88%	
H28年度	405.5	176.0	66.0	647.5	2.10%	2.02%	1.92%	
H29年度	393.0	185.5	79.0	657.5	2.06%	2.06%	1.97%	
H30年度	402.5	209.5	111.5	723.5	2.16%	2.14%	2.05%	
R1年度	405.5	239.5	127.0	772.0	2.27%	2.17%	2.11%	
R2年度	390.0	239.5	127.5	757.0	2.26%	2.25%	2.15%	
R3年度	383.5	220.0	148.0	751.5	2.32%	2.29%	2.20%	
R4年度	363.5	217.5	148.5	729.5	2.27%	2.32%	2.25%	
R5年度	378.0	233.0	186.0	797.0	2.47%	2.42%	2.33%	

※令和3年3月から民間企業の法定雇用率が2.2%から2.3%に改定



概要

◇当所管内(上田市、東御市、長和町、青木村)で障害者の法定雇用率2.3%が適用される民間企業180社(常用労働者数43.5人以上規模の企業)に雇用される障害者数は797.0人(うち、身体378.0人、知的233.0人、精神186.0人)となり、前年より9.3%の増加となった。障害種別では身体は4.0%の増、知的は7.1%の増、精神は25.3%の増とすべてにおいて前年を上回っている。

管内の障害者実雇用率は2.47%で前年(2.27%)を0.20pt上回った。また、雇用率達成企業の割合は70.0%で前年(63.7%)を6.3pt上回った。未達成企業54社のうち、障害者を1人も雇用していない「0人雇用企業」は31社、また、1人不足企業は43社で79.6%を占めている。

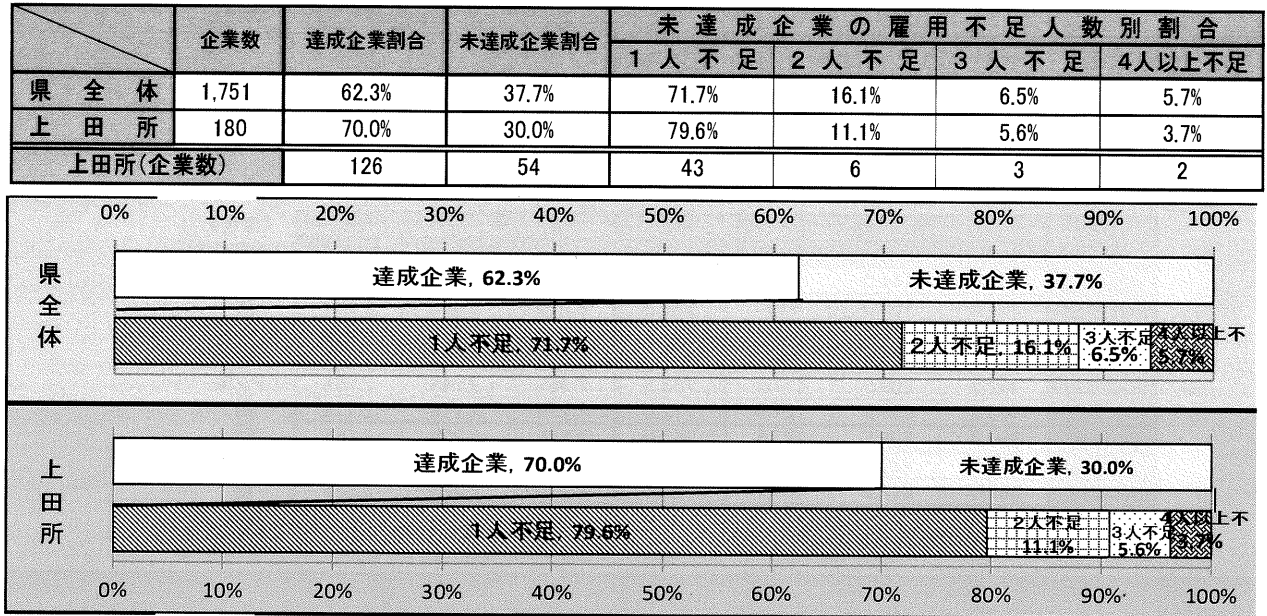
産業別の実雇用率では、「電気・ガス・熱供給・水道業」「金融、保険業」「学術研究、専門・技術サービス業」「宿泊、飲食サービス業」を除く多くの産業で前年を上回る状況が見られた。また、規模別では、「1,000人以上」以外で前年を上回る状況が見られ、それぞれに障害者雇用の前進が見られた。

◇雇用率2.6%が適用される管内の地方公共団体等9機関の雇用障害者数は81.5人(前年84.5人)、実雇用率は2.71%(前年2.74%)となっており、1機関で1.0人の雇用不足となっている。

- 【注】※ 重度身体又は重度知的障害者については、その1人の雇用をもって2人の身体又は知的障害者を雇用しているものとしてカウントされます。
 ※ 重度身体又は重度知的障害者である短時間労働者(1週間の所定労働時間が20時間以上30時間未満の労働者)については、1人分として、重度以外の身体及び知的障害者並びに精神障害者である短時間労働者については、0.5人分としてカウントされます。
 ※ ただし、精神障害者である短時間労働者については、当分の間、その1人をもって1人分としてカウントされます。また、令和4年においては、精神障害者である短時間労働者であって次のいずれかに該当する者についてのみ、1人を1人分としてカウントされます。
 ① 令和元年6月2日以降に採用された者であること
 ② 令和元年6月2日より前に採用された者で、同日以後に精神障害者保健福祉手帳を取得した者であること

令和5年度 上田所管内の障害者雇用状況

第2表 雇用率の達成状況（県比較）

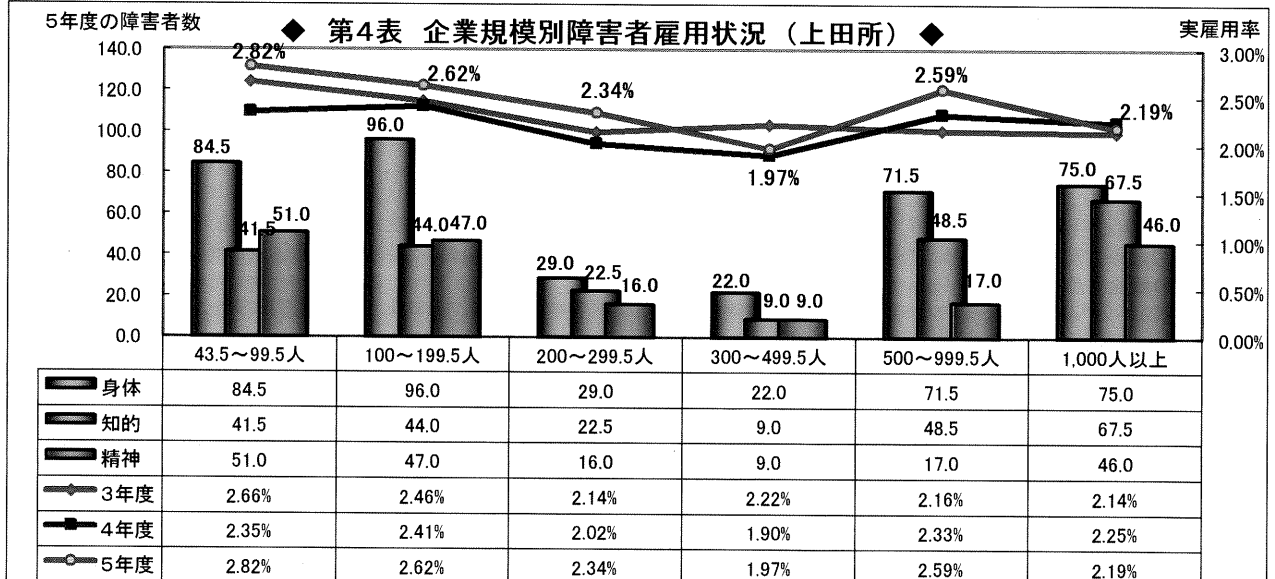


第3表 産業別障害者雇用状況（上田所）

	5年度の障害者雇用人数(産業別)				障害者の実雇用率(産業別)		
	身体	知的	精神	合計	3年度	4年度	5年度
農業・林業・漁業	0.0	0.0	1.0	1.0	2.65%	1.82%	1.82%
建設業	1.0	0.0	0.0	1.0	0.00%	0.00%	0.68%
製造業	147.0	111.0	69.0	327.0	2.23%	2.21%	2.38%
電気・ガス・熱供給・水道業	2.0	0.0	0.0	2.0	2.29%	1.62%	1.31%
情報通信業	11.0	0.0	3.0	14.0	1.61%	1.33%	1.67%
運輸・郵便業	18.0	7.5	10.0	35.5	2.55%	2.38%	2.78%
卸売、小売業	24.5	3.0	6.0	33.5	2.09%	2.10%	2.25%
金融、保険業	3.5	0.0	2.0	5.5	2.70%	2.23%	2.06%
不動産、物品賃貸業	2.0	0.0	1.0	3.0	0.67%	1.25%	1.76%
学術研究、専門・技術サービス業	1.0	0.0	0.0	1.0	1.23%	1.33%	0.84%
宿泊、飲食サービス業	60.5	54.0	29.0	143.5	2.17%	2.25%	2.24%
生活関連サービス、娯楽業	8.0	5.0	3.0	16.0	2.92%	2.63%	2.71%
教育、学習支援業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00%	0.00%	0.00%
医療、福祉	56.0	44.0	53.0	153.0	2.83%	2.79%	3.24%
複合サービス業	17.5	2.0	0.0	19.5	2.05%	2.91%	3.17%
サービス業	26.0	6.5	9.0	41.5	2.69%	2.05%	2.65%
合計	378.0	233.0	186.0	797.0	2.32%	2.27%	2.47%

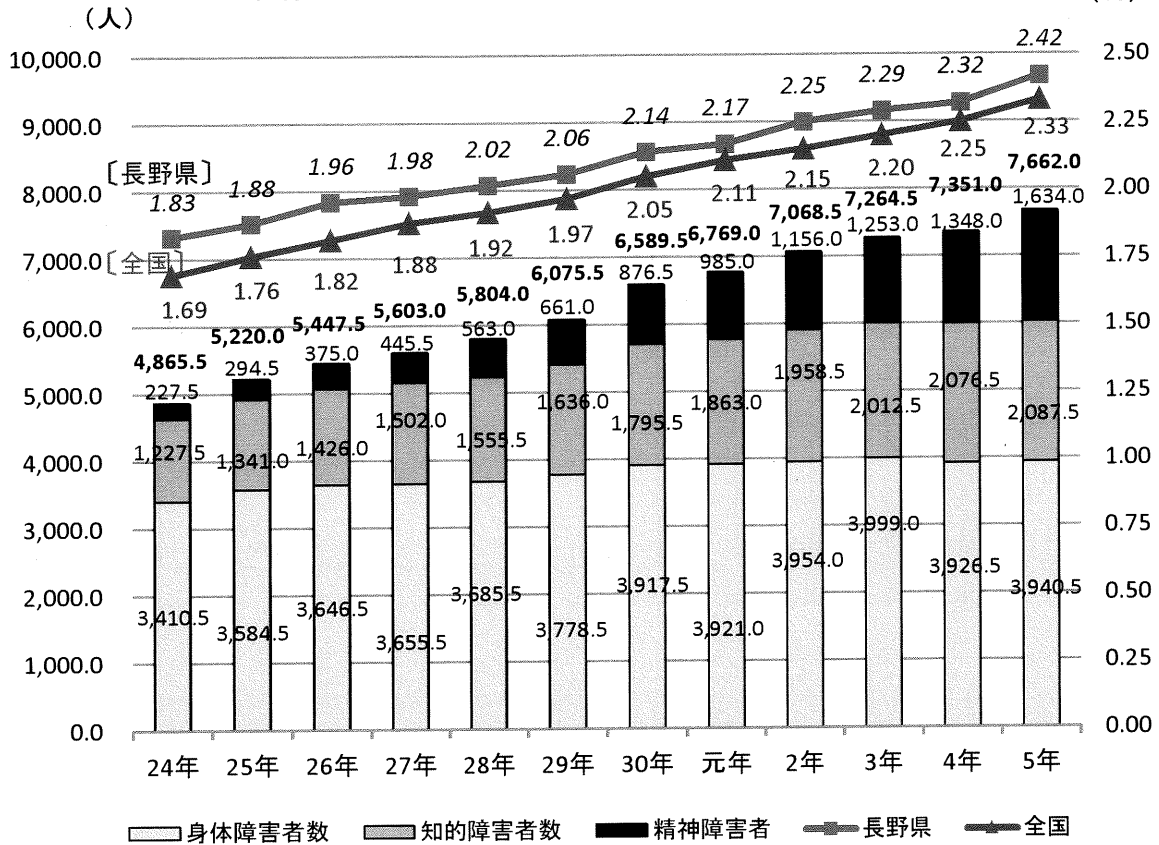
第4表 企業規模別障害者雇用状況（上田所）

	5年度の障害者雇用人数(企業規模別)				障害者の実雇用率(企業規模別)		
	身体	知的	精神	合計	3年度	4年度	5年度
43.5～99.5人	84.5	41.5	51.0	177.0	2.66%	2.35%	2.82%
100～199.5人	96.0	44.0	47.0	187.0	2.46%	2.41%	2.62%
200～299.5人	29.0	22.5	16.0	67.5	2.14%	2.02%	2.34%
300～499.5人	22.0	9.0	9.0	40.0	2.22%	1.90%	1.97%
500～999.5人	71.5	48.5	17.0	137.0	2.16%	2.33%	2.59%
1,000人以上	75.0	67.5	46.0	188.5	2.14%	2.25%	2.19%
合計	378.0	233.0	186.0	797.0			

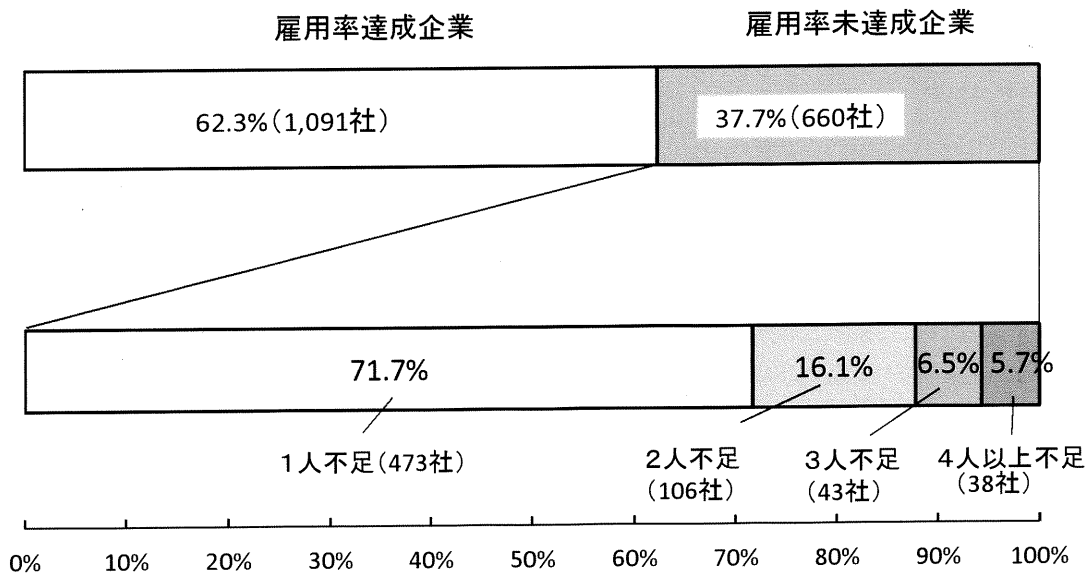


グラフで見る障害者の雇用状況

民間企業の雇用障害者数・実雇用率の推移

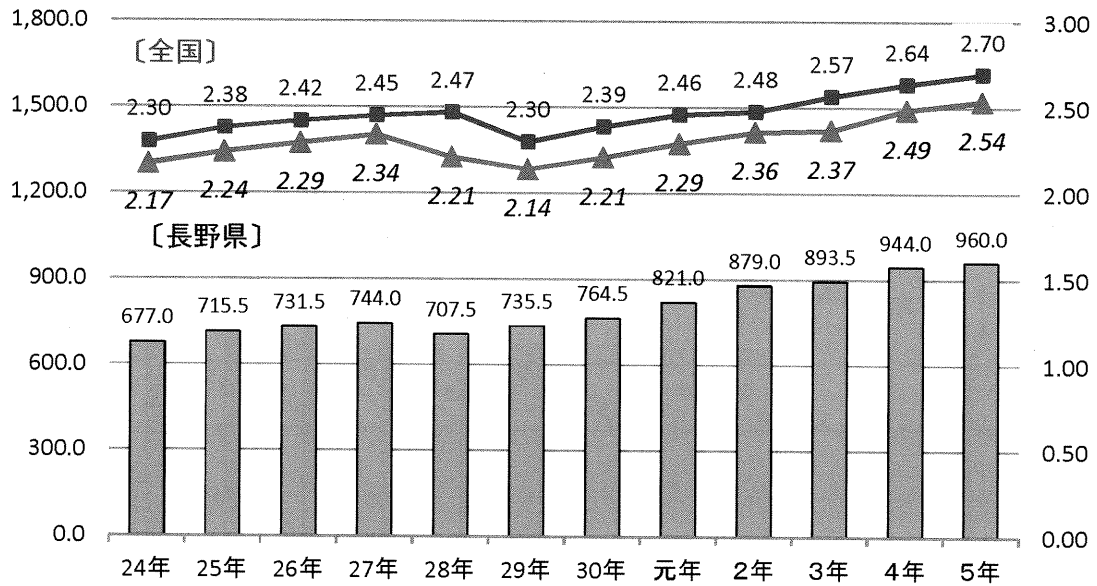


法定雇用率達成企業・未達成企業の割合

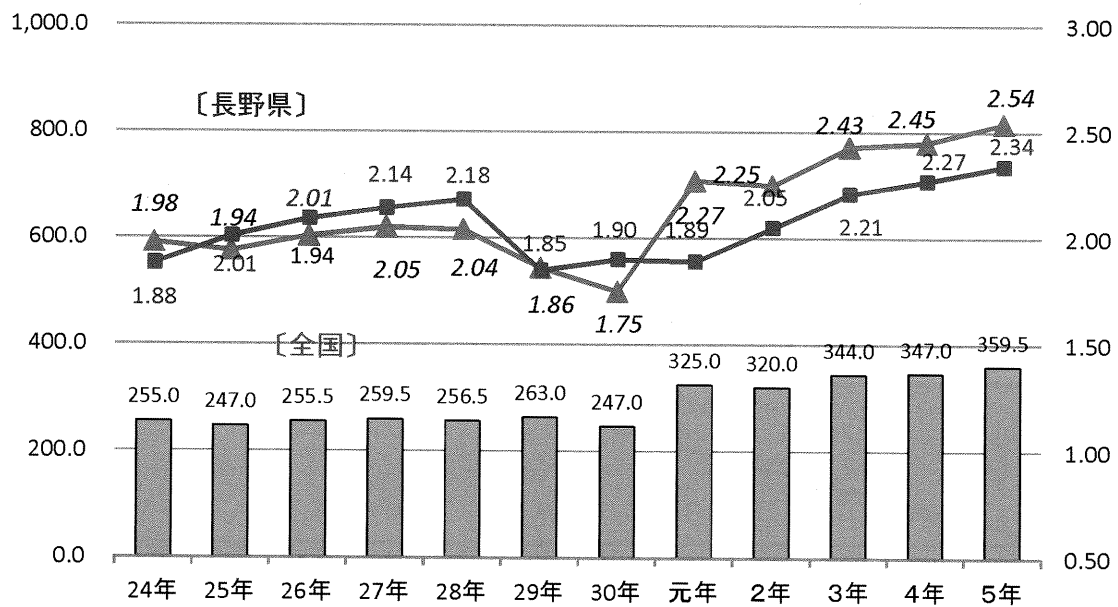


地方公共団体等の在職障害者数・実雇用率の推移

法定雇用率 2.6% が適用される機関



法定雇用率 2.5% が適用される機関



障害者の雇用状況について（上田公共職業安定所管内 令和6年1月末現在）

1 新規求職申込件数

障害者の新規求職申込件数（表1）は、前年に比べ増加傾向。障害種別（表2）では精神障害者比率の上昇がみられる。

表1 新規求職申込件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和4年度	42	50	50	30	30	44	41	24	42	43	38	50	484
令和5年度	24	55	52	53	44	42	52	55	42	49			468
増減	▲18	5	2	23	14	▲2	11	31	0	6			▲16

表2 障害種別ごとの新規求職申込件数

	令和4年度		令和5年度(R6年1月末)		前年度比増減
	件数	比率	件数	比率	件数
身体	104	21.5%	90	19.2%	▲14
知的	71	14.7%	72	15.4%	1
精神	285	58.9%	277	59.2%	▲8
発達・難病等	24	5.0%	29	6.2%	5
合計	484	100.0%	468	100.0%	▲16

2 有効求職者数

障害種別で、有効求職者全体に占める精神障害者の比率が61%に上昇。

表3 有効求職者数（月平均値）

	令和4年度		令和5年度(R6年1月末)		増減
	人数	比率	人数	比率	
身体	141	23.1%	95	21.0%	▲46
知的	81	13.3%	62	13.6%	▲20
精神	356	58.1%	277	61.0%	▲79
発達・難病等	34	5.5%	20	4.4%	▲14
合計	612	100.0%	454	100.0%	▲158

3 紹介件数

精神障害者の紹介件数が前年度に比べ減少数が目立つ。なお、精神障害者の紹介件数は令和4年度が例年に比べ多かった。

表4 障害種別ごとの紹介件数

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (R6年1月末)	対前年度比(件)		
					R3	R4	R5
身体(件)	116	129	119	99	13	▲10	▲20
知的(件)	59	113	82	67	54	▲31	▲15
精神(件)	588	604	702	527	16	98	▲175
発達・難病等(件)	106	94	49	29	▲12	▲45	▲20
合計(件)	869	940	952	722	71	12	▲230

4 就職件数

今年度の障害者就職件数(表5)は、1月末までの合計数比較で前年同期比2件減少。
障害種別(表6)では、2月～3月の就職決定数が未定であるが、そうしたことを考慮しても知的障害者減少が目立つ。

表5 就職件数の対前年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和4年度	17	20	21	16	19	20	23	26	10	21	20	32	245
令和5年度	22	19	18	19	20	20	15	16	31	11			191
増減	5	▲1	▲3	3	1	0	▲8	▲10	21	▲10			▲54

表6 障害種別ごとの就職件数

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (R6年1月末)	対前年度比(件)		
					R3	R4	R5
身体(件)	26	36	35	35	10	▲1	0
知的(件)	32	57	50	28	25	▲7	▲22
精神(件)	129	138	152	122	9	14	▲30
発達・難病等(件)	20	25	8	6	5	▲17	▲2
合計(件)	207	256	245	191	49	▲11	▲54

表7 長野県内安定所毎の障害者就職件数

	長野	松本	上田	飯田	伊那	篠ノ井	飯山	木曾 福島	佐久	大町	須坂	諏訪
令和3年度(件)	355	426	256	144	200	203	100	21	241	72	52	166
令和4年度(件)	364	514	245	166	197	177	66	23	239	71	65	190
令和6年1月末(件)	322	450	191	140	121	182	81	15	183	40	69	168
R4・R5年度増減(件)	▲42	▲64	▲54	▲26	▲76	5	15	▲8	▲56	▲31	4	▲22

※ 佐久所には小諸出張所分が、諏訪所には岡谷出張所分がそれぞれ含まれます。

5 紹介成功率(就職件数/紹介件数)

全体の紹介成功率では例年並みの状況。障害種別では、知的障害で登録していた者の紹介成功率が低下している。

表8 障害種別ごとの就職率

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (R6年1月末)	2年度対比(%)		
					R2	R3	R4
身体(%)	22.4	27.9	29.4	35.4	5.5	7.0	12.9
知的(%)	54.2	50.4	61.0	41.8	▲3.8	6.7	▲12.4
精神(%)	21.9	22.8	21.7	23.1	0.9	▲0.3	1.2
発達・難病等(%)	18.9	26.6	16.3	20.7	7.7	▲2.5	1.8
合計(%)	23.8	27.2	25.7	26.5	3.4	1.9	2.6

運営委員会 年度報告

テーマ	<ol style="list-style-type: none"> 1 上小圏域障がい者自立支援協議会・本会運営及び各委員会の運営 2 第6期障害福祉計画/第2期障害児福祉計画の進捗管理と共に第7期障害福祉計画/第3期障害児福祉計画の策定 3 各委員会・専門部会からの課題検討の整理と検討 4 長野県自立支援協議会との連動 5 日中支援型グループホームの評価の実施 6 コロナ禍・災害支援含めた業務継続計画(BCP)の経過措置前年での計画作成の推進(個別避難計画の作成について検討含む) 7 長野県引きこもり支援(地域福祉課)の市町村・圏域プラットフォームの検討
上小圏域第6期障害福祉計画重点施策の該当項目	<ul style="list-style-type: none"> ○ 緊急時支援台帳整備の推進と感染症対策にも対応できる地域生活支援拠点の機能強化を図ります。 ○ 地域包括エリアごとに協議検討を積み上げ、多職種及び地域住民の連携システムを構築します。 ○ 主任相談支援専門員の配置を促進するとともに、圏域内でのOJTの体制整備を図ります。

■活動予定

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
委員会	委員会協議会	委員会	委員会	委員会	委員会	委員会協議会	委員会	委員会	委員会	委員会	委員会協議会

■活動内容

月	活動概要
第1回 4月21日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和5年度 自立支援協議会の組織について 2. 運営委員会の役割分担並びに事業計画について 3. 拠点プロジェクト：各委員会（緊急ショート・医療的ケア・障害児者地域包括ケア） 4. 第48回 自立支援協議会本会の運営について 5. 日中支援型GH評価について 6. 重度包括支援事業評価について 7. 障害福祉計画の策定について <p>場所：上田市ふれあい福祉センター2階 市民ホール</p>
第2回 5月18日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第48回 上小圏域障がい者自立支援協議会 本会内容の検討 2. 第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画の進捗管理と推進検討 <p>場所：上田市ふれあい福祉センター2階 市民ホール</p>
5月29日	<p>第48回 上小圏域障がい者自立支援協議会 本会</p> <p>場所：丸子ふれあいステーション3階 会議室</p>
第3回 6月23日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第48回 上小圏域障がい者自立支援協議会 本会の振り返り 2. 第7期障害福祉計画/第3期障害児福祉計画の検討（作業部会） 3. 各委員会・専門部会からの課題確認 <p>場所：上田市ふれあい福祉センター2階 市民ホール</p>
第4回 7月	長野県障がい者プラン説明会開催を受けて延期

第4回 8月3日	1. 第7期障害福祉計画/第3期障害児福祉計画の検討（作業部会） 2. 日中支援型グループホームの現地評価について 3. 避難行動要支援者の避難取組研修について 場所：上田市ふれあい福祉センター2階 市民ホール
第5回 9月19日	1. 第7期障害福祉計画/第3期障害児福祉計画の検討（作業部会） 2. 第49回 本会運営内容の検討（各委員会・専門部会活動報告） 3. 日中支援型グループホームの現地評価報告 場所：上田市ふれあい福祉センター2階 市民ホール
第6回 10月4日	1. 第49回 本会の運営について 2. 各委員会・専門部会からの課題確認 場所：上田市ふれあい福祉センター2階 市民ホール
10月30日	第49回 上小圏域障がい者自立支援協議会 本会 場所：上田合同庁舎6階 講堂
第7回 11月8日	1. 第7期障害福祉計画/第3期障害児福祉計画の検討（中間報告内容の確認） 2. 各委員会・専門部会からの課題確認 場所：上田市ふれあい福祉センター2階 市民ホール
第8回 12月20日	1. 第7期障害福祉計画/第3期障害児福祉計画について（圏域版計画の素案確認） 2. 長野県への中間報告内容について/重点施策等の最終報告に向けて 3. 第49回本会の振り返り 場所：上田市ふれあい福祉センター2階 市民ホール
第9回 1月24日	第7期障害福祉計画/第3期障害児福祉計画について（圏域版最終確認）
第10回 2月16日	1. 第50回 本会の運営について 2. 福祉計画最終版の確定と推進方法の検討 3. 令和5年度 運営委員会の振り返りと次年度に向けて 4. 令和6年報酬改定における相談支援の加算の取り扱いについて 場所：上田市ふれあい福祉センター2階 市民ホール
3月25日	第50回 上小圏域障がい者自立支援協議会 本会 場所：上田市ふれあい福祉センター2階 大会議室

■考察・来年度に向けて

本年度は、各委員会・専門部会の運営に加えて、障害福祉計画・障害児福祉計画の策定の年度として、計画作成担当者のご参加も何度か頂き第10回の運営委員会の開催を実施した。3年に一度の計画策定に追われながら、制度改正や報酬改定の情報共有や日中支援型グループホーム・重度包括支援事業の評価等、充実した委員会の開催と年3回の本会を運営した。

次年度に向けては、本年度作成した福祉計画を推進するための議論を協議会として進められるよう委員会の開催を予定していく。

■参加機関

行政機関	上田市障がい者支援課	福祉係長 2名 ※福祉計画策定担当者1名
	上田市丸子市民サービス課	福祉係長
	上田市真田市民サービス課	福祉係長
	東御市福祉課	福祉係長 ※福祉計画策定担当者1名
	東御市こども家庭支援課	係長（担当者）
	長和町町民福祉課	福祉係長
	青木村住民福祉課	福祉係長
委員長	上田保健福祉事務所 福祉係長	
事務局	上小圏域基幹相談支援センター	

※ 福祉計画策定する回のみ参加

緊急ショートステイ運営委員会 年度報告

テーマ	1 緊急ショートステイ運営委員会の開催による事業評価と検討及び本会実績報告 2 障害児相談支援体制の充実（障がい児相談事業の基盤整備） 3 上小地域施設連絡協議会を通じて、地域生活支援拠点への5つの機能の登録の推進
上小圏域第6期障害福祉計画重点施策の該当項目	○緊急時支援台帳整備の推進と感染症対策にも対応できる地域生活支援拠点の機能強化を図ります。 ○主任相談支援専門員の配置を促進するとともに、圏域内でのOJTの体制整備を図ります。

■活動予定

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
会議	委員会				委員会						委員会

■活動内容 拠点実績中間報告（別紙）

月	活動概要
事務局会議 4月4日	年度計画案の作成 場所：上田市役所 障がい者支援課
第1回 5月25日	1. 令和5年度 緊急ショートステイ運営委員会事業計画（案）の検討 2. 令和4年度 緊急ショートステイ運営事業実績の集約と課題検討 3. 地域生活支援拠点整備に関する登録推進について 場所：上田市役所2階202.203会議室
第2回	地域生活支援拠点について（制度改正の概要）情報交換会 →福祉計画の内容検討を受けての実施のため、年度末会議へ変更
第3回	令和5年度地域生活支援拠点（緊急ショートステイ運営委員会）の上半期報告集約 場所：情報収集と集約
第4回 3月13日	1. 令和5年度地域生活支援拠点（緊急ショートステイ運営委員会）の中間報告 2. 令和6年度 次年度契約に向けて 3. 緊急ショートステイ運営事業に関する課題検討と協議会本会報告の確認 場所：上田市役所（上田市ふれあい福祉センター 2階市民ホール）

■考察・来年度に向けて

コロナ5類への移行により、通常の事業が推進できました。例年に無く輪番月の緊急ショートステイ利用者の数が増えた原因は、居住系サービス利用に至れない利用者を、輪番で受け入れてもらい調整に時間を要した結果でした。課題としては、親の高齢化に伴う親の入院やケガ等による利用ニーズが増加している状況で、自宅介護までの間のロングショートにならざるを得ない状況が見られています。ロングショートのサービス決定についても課題解決の検討を今後必要と感じています。また、虐待案件や行動障害などの特性に応じた受入のハード面では個室確保の課題が上がっています。

体験利用でも、入所を前提にした本人・親の高齢化等への対応も増えて来ている状況です。

次年度も契約を更新し、体制強化と課題についての検討を実施して行く予定としました。

強度行動障害等の重度障害者の緊急時支援についても、次年度の検討課題として運営委員会の開催を実施する予定としました。

■参加機関

福祉事業所	拠点委託法人の代表者（理事長・施設長・事業所責任者など） 指定一般相談支援事業所の管理者・相談支援専門員 自立生活援助事業所管理者・サービス管理責任者 地域生活支援拠点登録指定特定相談支援事業所の管理者・相談支援専門員 （機能強化型Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ事業所） 地域生活支援拠点・契約法人の事務長または担当者
行政機関	東御市障害福祉課係長、長和町町民福祉課係長、 青木村住民福祉課係長、長野県上田保健福祉事務所福祉課
委員長	上田市障がい者支援課 係長
事務局	上小圏域基幹相談支援センター

令和5年度4～2月 上小圏地域生活支援拠点（緊急シヨートステイ）振り返り

質問事項	輪番月に限らず、利用者及びその家族等の緊急により、短期入所を受け入れたケース数	左記で、ケースを受け入れた緊急内容	虐待案件での緊急保護として、短期入所を受け入れたケース数	体験利用として、短期入所で受け入れたケース数	貴法人の相談支援専門員による、緊急受入調整により、短期入所利用を受け入れたケース数
輪番法人		左記で、ケースを受け入れた緊急内容			
ともいきライフ 住吉	2 上記のうち輪番月 (2)	・自宅では看る事が出来ず、緊急シヨートとして利用された	0	3	0
第三上田 ひもろ木園	5 上記のうち輪番月 (2)	・二人暮らしの母親の入院・療養の為 ・ご家族の入院と健康管理の為	0	4	4
ライフステージ かりがね	20 上記のうち輪番月 (0)	・家族の入院・体調不良・急用・リフレッシュ ・地震への不安（1人暮らし） ・ケガ等で退院後、グループホームでの生活が困難なため、一時的な受け入れ	0	1	9
しいのみ療護園 上田しいのみ園	0 上記のうち輪番月 (0)	※緊急ケースは無かったが、定期的な受け入れや、週末利用対応実施	0	0	0
山の子学園共同村	5 上記のうち輪番月 (3)	・車椅子使用者で身辺介助が必要（母の手術入院で自宅に出来ない） ・家族の入院に伴い、母が夜間付き添いになる事から、自宅で共に生活している娘を緊急シヨート	0	3	1
上田悠生寮	2 上記のうち輪番月 (1)	・ご家族（お母様）の入院、手術で独りになってしまったことでの受け入れ	0	5	0
	34（8）		0	16	14

事業所から

事業の特性上、緊急的な受け入れが前提となることは止むを得ないと思います。

受け入れ側の心理的負担はありますが、緊急時の連絡先等がはっきりしているれば、負担軽減にもつながるかと思います。

令和5年度

障がい児者地域包括ケアシステム検討委員会 年度報告

テーマ	1 市町村包括エリア毎の連携強化に向け、全体会の開催（ミニ学習会含む） 2 包括支援センター毎の障がい児者の相談支援・市町村担当者との個別ケース会議開催 3 地域住民との連携するための取り組みの模索 4 65歳移行期障がい者の説明の推進（60歳～65歳以降リストの作成） 5 居宅介護事業所の実態調査やケアマネジャーとの連携の体制整備の検討
上小圏域第6期障害福祉計画重点施策の該当項目	○地域包括エリアごとに協議検討を積み上げ、多職種及び地域住民の連携システムを構築します。

■活動予定（運営委員会での活動状況の確認会議）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
会議	会議	会議	会議	会議	会議	会議	会議		会議	会議	会議

■活動内容

月	活動概要
事務局会議 4月4日	圏域事業計画案の検討 場所：上田市役所
上田市 5月23日	上田市第1回障がい児者地域包括ケアシステム検討委員会（全体会議） 場所：上田市役所
連絡会 連携会議	東御市障がい児者地域包括ケアシステム検討委員会（全体会議） 1. 民間介護・福祉事業所連絡会【定例会予定 5月 8月 12月】【研修会 11月 2月】 2. 多職種連携会議（医師・看護師・ケアマネ・リハ専門職・薬剤師・介護職） 【定例会議予定 6月 9月 11月 1月】 ※協議会事務局参加 10月19日開催 場所：東御市役所
毎月開催	長和町障がい児者地域包括ケアシステム検討委員会（全体会議） 毎月開催【第一月曜日 9:30～】 ※協議会事務局参加 5月 9月 2月 場所：長和町役場
上田市 10月24日	上田市第2回障がい児者地域包括ケアシステム検討委員会（全体会議） 場所：上田市役所
青木村 11月10日	青木村障がい児者地域包括ケアシステム検討委員会（全体会議） 場所：青木村役場
上田市 2月20日	上田市第3回障がい児者地域包括ケアシステム検討委員会（全体会議） 場所：上田市役所
随時開催	上田市10包括毎の地域包括ケアエリアでの地域ケア会議 ※別紙 場所：地域包括ケアエリア会場

■精神障害者にも対応した包括ケアシステム【にも包括協議会】（事務局 千曲荘病院）

月	活動概要
第1回 5月26日	各機関の現状や取り組み状況の確認 (大塚製薬からの情報提供)
第2回 7月6日	上田市【精神障害者にも対応した包括ケアシステム】他機関連携に向けた協議の場の設置に向けた検討並びに今後の検討に向けた方向性について 場所：千曲荘病院
第3回 10月5日	上田市【精神障害者にも対応した包括ケアシステム】他機関連携に向けた協議の場の設置に向けた各機関の取り組み・意見交換 (上田市地域福祉計画の策定の状況報告など) 場所：千曲荘病院
第4回 3月7日	上田市【精神障害者にも対応した包括ケアシステム】の協議の場の設置に向けて 「個別支援の検討」の軸：個別課題解決・個別ケースから見える地域課題抽出 「支援体制の整備」の軸：福祉サービス・体制構築の課題抽出 「地域基盤の整備」の軸：保険医療、福祉資源開発、制度施策検討(圏域協議会) ※次年度、年2回開催での事例検討を企画予定 場所：千曲荘病院
行政機関	千曲荘病院 (院長・PSW・地域活動支援センター) 上田保健福祉事務所 上田市障がい者支援課 上田市福祉課 上田市高齢者介護課 上田市健康推進課 上田市子育て子育て支援課 上田市社会福祉協議会 上小やまびこ会(精神障害者家族会) 上小圏域基幹相談支援センター 大塚製薬(オブザーバー)

■考察・来年度に向けて

本年度は、昨年5月の新型コロナ5類移行により、対面での全体会議が各市町村で実施された。また上田市においては、包括エリア毎の個別ケースの連携会議や、情報交換が活発に行われた。特に、包括支援センター毎、上田市においては包括支援センター連携による研修や、主任介護支援専門員・看護師等の職域、圏域内の主任介護支援専門員更新等による、障がい分野研修会が数多く実施され、制度の異なる連携強化のための研修会の開催が実施された。

さらに、千曲荘病院よりご発信頂き、【精神障害者にも対応した包括ケアシステム】の他機関連携に向けた協議の場の設置に向けた検討が4回開催され、上田市地域福祉計画の策定に合わせた、子ども分野から高齢・障がい分野の垣根を超えた連携会議に向けた検討を行い、次年度の協議の場の設置への第一歩を踏み出す準備へと協議頂くことができた。

■参加機関

福祉事業所	相談支援専門員
地域包括支援センター	主任介護支援専門員または社会福祉士
居宅介護事業所	管理者または介護支援専門員
行政機関	上田保健福祉事務所福祉課 市町村障害福祉係長及び推進担当者 市町村健康推進課保健師
社会福祉協議会	事業計画やスケジュールに応じて適時参加依頼
児童分野	事業計画やスケジュールに応じて適時参加依頼
委員長	各市町村福祉係長
事務局	上小圏域基幹相談支援センター

令和5年度

上小圏域障がい児者地域包括ケアシステム(地域連携会議・個別支援会議等)報告

(R6.3.25 現在)

	日時 場所・時間	実施目的	参加者 (参加機関)	実施内容記録
上田市包括全体会	R5.5.22 (火) 上田市役所 13:30~15:15	第1回上田市地域包括支援センター合同会議		<ul style="list-style-type: none"> 介護保険移行リーフレットの説明 障がい福祉サービスの流れ 令和4年度事業報告 令和5年度検討委員会事業計画(案) 障がいと介護の連携会議 (引きこもり相談支援案件の情報共有グループワーク)
	R5.10.24 (火) 上田市役所 13:30~15:15	第2回上田市地域包括支援センター合同会議	<ul style="list-style-type: none"> 上田市10地域包括支援センター 上田市高齢者介護課 上田市障がい者支援課 上小圏域基幹相談支援センター (以下、基幹相談支援センターと記載)	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者自立支援協議会本会への中間報告 上小圏域包括エリア毎の連携会議・研修会などの実績 令和5年度 居宅介護事業所アンケート集計報告 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム検討会(千曲荘病院での検討会について)
	R6.2.20(火) 上田市役所 13:30~15:30	第3回上田市地域包括支援センター合同会議		<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度 地域包括エリアにおける障がい分野との連携会議の実績(中間)報告 令和6年度の連携会議について高齢者・障がい者の災害時支援に向けた現状説明
主任介護支援専門員勉強会	R5.5.19 (金) 丸子ふれあいステーション 3階 14:00~15:30	主任ケアマネ勉強会打ち合わせ	<ul style="list-style-type: none"> 神科地域包括支援センター 川西地域包括支援センター 塩田地域包括支援センター 丸子地域包括支援センター 基幹相談支援センター 	10 地域包括支援センター主任介護支援専門員勉強会 勉強班打ち合わせ
	R5.6.30(金) 西部地域包括支援センター 14:00~16:00	10 地域包括支援センター主任介護支援専門員勉強会	<ul style="list-style-type: none"> 神科地域包括支援センター 川西地域包括支援センター 神川地域包括支援センター 真田地域包括支援センター 塩田地域包括支援センター 	<ul style="list-style-type: none"> 基幹相談支援センターについて 障害福祉サービスの流れ 実際のかかわり 意見交換等
	R5.9.28(木) 武石地域自治センター 13:00~15:00		<ul style="list-style-type: none"> 城下地域包括支援センター 西部地域包括支援センター 武石地域包括支援センター 中央地域包括支援センター 丸子地域包括支援センター 基幹相談支援センター 	<ul style="list-style-type: none"> 福祉サービスから介護保険移行の流れ 福祉サービスから介護保険移行までの事例検討 介護保険と福祉サービス併用のケース事例検討 意見交換等
中央包括	R5.7.27(木) 中央地域包括支援センター 13:30~15:00	地域ケア会議	<ul style="list-style-type: none"> 中央地域包括支援センター 上田市高齢者介護課 上田市障がい者支援課 基幹相談支援センター 	<ul style="list-style-type: none"> リストの共有 地域の課題についての検討 今後の連携についての意見、要望等

日時 場所・時間	実施目的	参加者（参加機関）	実施内容記録	
R5.11.20(月) 上田市 中央公民館 14:00～15:30	中央地区介護支援 専門員学習会	・居宅介護支援事業所および小規模 多機能型居宅介護事業所の介護 支援専門員 ・中央地域包括支援センター ・上田市障がい者支援課 ・基幹相談支援センター	・障害福祉サービスの制度説明 ・基幹相談支援センターについて ・事例紹介 ・グループワーク	
R6.12.13(水) 西部地域包括 支援センター 13:30～14:30	中央・西部包括 地域ケア会議 打合せ	・上田市高齢者介護課 ・西部地域包括支援センター ・中央地域包括支援センター ・基幹相談支援センター	1/2 2 中央・西部合同地域ケア会議の 内容、周知方法など	
R6.1.22(月) 西部地域包括 支援センター 13:30～15:30	中央・西部包括 地域ケア会議	・西部地域包括支援センター ・中央地域包括支援センター ・上小障害者相談支援事業所 ・西部・中央地域の介護支援専門員 ・西部・中央地域介護居宅介護事業所 ・上田市高齢者介護課 ・上田市障がい者支援課 ・基幹相談支援センター	グループに分かれて2事例、事例検討	
西部 包括	R5.6.12(水) 西部地域包括 支援センター 13:30～15:00	・西部地域包括支援センター ・上田市高齢者介護課 ・上田市障がい者支援課 ・基幹相談支援センター	・顔合わせ ・リストの共有 ・気になる宅の情報共有 ・合同勉強会に向けて	
	R5.9.26(火) 西部地域包括 支援センター 10:00～11:30	・西部地域包括支援センター ・社会福祉協議会 ・福祉用具担当者 ・薬剤師 ・訪問リハビリ ・訪問看護 ・上田市高齢者介護課 ・上田市障がい者支援課 ・基幹相談支援センター	・地域ケア会議について ・事例検討	
	R6.12.13(水) 西部地域包括 支援センター 13:30～14:30	中央・西部包括地 域ケア会議打合 せ	・西部地域包括支援センター ・中央地域包括支援センター ・上田市介護福祉課 ・基幹相談支援センター	1/2 2 中央・西部合同地域ケア会議の 内容、周知方法など
	R6.1.22(月) 西部地域包括 支援センター 13:30～15:30	中央・西部包括地 域ケア会議	・西部地域包括支援センター ・中央地域包括支援センター ・上小障害者相談支援事業所 ・西部・中央地域の介護支援専門員 ・西部・中央地域介護居宅介護事業所 ・上田市高齢者介護課 ・上田市障がい者支援課 ・基幹相談支援センター	グループに分かれて2事例検討

	日時 場所・時間	実施目的	参加者（参加機関）	実施内容記録
神川 包括	R5.6.21(水) 神川公民館 13:30~15:15	地域ケア会議	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会長 ・民生児童委員 ・大屋交番（所長） ・保佐人 ・居宅介護支援事業所 ・神川地域包括支援センター ・上田市高齢者介護課 ・上田市障がい者支援課 ・基幹相談支援センター 	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の経過と現状（各支援者より） ・地域での支援体制 ・今後の支援のあり方と課題 ・緊急時の連絡場所の確認
	R5.7.19(水) 神川地域包括 支援センター 10:00~12:00	打合せ	<ul style="list-style-type: none"> ・神川地域包括支援センター ・上田市障がい者支援課 ・基幹相談支援センター 	<ul style="list-style-type: none"> ・60歳以上のリストの確認 ・リストの中で対応が必要な1事例についての今後の対応について
	R5.10.5(木) 鹿教湯病院 14:30~16:00	退院に向けた関係者会議 (介護保険制度移行)	<ul style="list-style-type: none"> ・本人 ・鹿教湯病院 MSW、NS、OT ・神川包括支援センター ・シャイン ・上田市福祉課 ・上田市障がい者支援課 ・基幹相談支援センター 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の共有 ・介護認定及び障害支援区分変更の共有 ・退院後の生活について
	R5.11.17(金) 鹿教湯病院 15:30~17:30	現状の共有と退院後の生活について	<ul style="list-style-type: none"> ・本人 ・鹿教湯病院 医師、MSW、NS、OT ・神川包括支援センター ・シャイン ・上田市福祉課 ・上田市障がい者支援課 ・基幹相談支援センター 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の共有 ・介護保険移行に伴う退院後の居所について ・その他
	R5.12.22(金) オンライン (zoom) 10:30~12:00	各制度の変更及び退院時期についての確認	<ul style="list-style-type: none"> ・本人 ・鹿教湯病院 MSW、NS、OT ・神川包括支援センター ・地域密着型特定有料老人ホーム ・上田市福祉課 ・基幹相談支援センター 	<ul style="list-style-type: none"> ・退院に向けての具体的役割や手続き等の確認
神科 包括	R5.10.27(金) 自宅 14:00~15:00	自宅訪問	<ul style="list-style-type: none"> ・両親 ・神科包括支援センター ・上田市障がい者支援課 ・基幹相談支援センター 	<ul style="list-style-type: none"> ・状況確認 ・福祉サービスの説明等
	R5.11.14(火) 上田市 ふれあい 福祉センター 10:00~11:00	個別支援会議	<ul style="list-style-type: none"> ・神科包括支援センター ・上田市高齢者介護課 ・上田市障がい者支援課 ・基幹相談支援センター 	<ul style="list-style-type: none"> ・ケース引継ぎのための情報共有等
城下 包括	R5.6.22(木) 城下地域包括 支援センター 14:00~15:30	リストの提供と 情報共有	<ul style="list-style-type: none"> ・城下地域包括支援センター ・上田市高齢者介護課 ・上田市障がい者支援課 ・基幹相談支援センター 	<ul style="list-style-type: none"> ・顔合わせ ・介護保険移行対象者リストの共有（59~64歳） ・リストに無い方、気になるお宅の共有 ・連携や相談の方法、課題について意見交換 ・次回会議について

日時 場所・時間	実施目的	参加者（参加機関）	実施内容記録
R5.6.29（木） 自宅 13:30～14:00	自宅訪問	・城下地域包括支援センター ・上田市障がい者支援課 ・基幹相談支援センター	・自宅訪問による状況確認
R5.7.11（火） 上田市役所 10:00～11:30	関係者会議	・城下地域包括支援センター ・精神科病院 ・上田市高齢者介護課 ・上田市障がい者支援課 ・基幹相談支援センター	・情報共有 ・今後の支援について
R5.8.31（木） 城下地域包括 支援センター 13:30～14:30	情報共有会議 （親：介護、 子：障害）	・城下包括支援センター ・デイサービスセンター ・居宅介護支援事業所 ・介護支援専門員 ・上田市高齢者介護課 ・基幹相談支援センター	・情報共有
R5.11.28（火） 城下地域包括 支援センター 14:00～15:15	合同学習会 （事例検討・意見 交換）	・城下地域包括支援センター ・上田市高齢者介護課 ・上田市障がい者支援課 ・基幹相談支援センター	・事例提供：包括支援センター ・支援機関や担当課が代わる際の引き継ぎ方 ・協力の難しい親族への対応 ・情報共有や相談のしやすい関係づくり等
川 西 包 括 R5.6.22（木） 川西地域包括 支援センター 9:30～11:00 R5.7.27（木） 長野大学 13:00～16:00 R5.8.31（木） 長野大学 13:00～16:00	研修会打合せ	・長野大学：太田貞司教授 ・川西地域包括支援センター ・上田しいのみ園 ・上田市障がい者支援課 ・上田市高齢者介護課 ・基幹相談支援センター	・9月のケアマネ、相談支援専門員研修会（地域包括ケアシステムについて：仮）の打ち合わせ。 ・その後、長野大学に移動して、講義内容などの打ち合わせ。 ・研修会の具体的な内容の確認と役割分担。 ・研修内容の最終確認、他
R5.9.4（月） 川西地域 自治センター 13:30～15:30	研修会 「第2回介護サ ービスと障がい サービス連携推 進研修会」	・長野大学（研修会講師） ・川西地域の居宅介護事業所 （11事業所：22人） ・上小園域の相談支援事業所 （9事業所：15人） ・千曲荘病院 ・佐久圏域障害者総合支援センター ・川西地域包括支援センター ・実習生 ・上田市障がい者支援課 ・上田市高齢者介護課 ・基幹相談支援センター	・講義「地域包括ケアシステム構築の背景と課題」 長野大学：太田 貞司氏 ・グループディスカッション ・共有、質疑応答
R.5.9.15（金） 長野大学 11:00～12:00	研修会打合せ	・長野大学（研修会講師） ・川西地域包括支援センター ・上田しいのみ園 ・上田市障がい者支援課 ・上田市高齢者介護課 ・基幹相談支援センター	・研修会振り返り

	日時 場所・時間	実施目的	参加者（参加機関）	実施内容記録
	R5.11.10（金） 川西地域包括 支援センター 14:00～15:00	打合せ	・川西地域包括支援センター ・上田市高齢者介護課 ・上田市障がい者支援課 ・基幹相談支援センター	・65歳以上のリストの共有 ・今後の連携について
塩田 包括	R5.5.18(木) 塩田地域 自治センター 14:00～15:30	個別支援会議	・本人 ・塩田地域包括支援センター ・上田市高齢者介護課 ・基幹相談支援センター	・情報共有等
	R5.6.19(月) 塩田地域包括 支援センター 14:00～15:00	関係者会議	・塩田地域包括支援センター ・上田市高齢者介護課 ・精神科病院 ・基幹相談支援センター	・情報共有と今後の支援について
	R5.6.27(火) 塩田地域包括 支援センター 14:00～15:00	打合せ	・塩田地域包括支援センター ・上田市障がい者支援課 ・基幹相談支援センター	・60歳以上のリストの確認
	R5.7.13(木) 塩田地域 自治センター 14:00～15:00	個別支援会議	・本人 ・塩田地域包括支援センター ・上田市高齢者介護課 ・基幹相談支援センター	状況確認等
	R5.12.7(木) 塩田地域 自治センター 14:00～15:00	個別支援会議	・本人 ・塩田地域包括支援センター ・上田市高齢者介護課 ・基幹相談支援センター	状況の確認等
真田 包括	R5.8.17（木） 真田地域 自治センター 13:30～14:30	包括ケアシステ ム合同会議	・真田地域包括支援センター ・真田地域市民サービス課 ・基幹相談支援センター	・60歳～65歳のリスト共有 ・地域課題の共有 ・今後の合同会議の持ち方と内容の検討
	R5.11.27（月） 真田地域 自治センター 13:00～15:00	包括ケアシステ ム合同会議	・やすらぎ ・真田地域包括支援センター ・真田地域市民サービス課 ・基幹相談支援センター ・つつじ	・65歳到達（予定）者の共有と、支援体制の確認 ・各事業所からの地域課題 ・今後の連携について
丸子 包括	R5.6.21(水) オンライン 14:30～15:30	個別支援会議 (両親：介護保険) (子：障がい)	【両親】 ・丸子地域包括支援センター ・訪問看護ステーション ・丸子地域自治センター (高齢者担当係長) 【子】 ・医療機関（通院・リハ） ・丸子地域自治センター (障がい担当) ・基幹相談支援センター	・家族情報の共有と支援状況の確認
	R5.6.28(水) 丸子地域 自治センター 13:30～15:00	リストの提供と 情報共有	・丸子地域包括支援センター ・武石地域包括支援センター ・丸子地域自治センター (障害担当係長)、(高齢者担当係長) ・武石地域自治センター (障害者担当)、(高齢者担当) ・基幹相談支援センター	・顔合わせ ・介護保険移行対象者リストの共有 ・リストに無い方、気になるお宅の共有 ・連携や相談の方法、課題について意見 交換 ・次回会議（勉強会）について

	日時 場所・時間	実施目的	参加者（参加機関）	実施内容記録
	R5.10.31(火) オンライン 15:00~16:00	個別支援会議 (両親：介護保険) (子：障がい)	【両親】 ・丸子地域包括支援センター ・訪問看護ステーション ・丸子地域自治センター (高齢者担当係長) 【子】 ・医療機関（通院・リハ） ・丸子地域自治センター (障がい担当) ・基幹相談支援センター	・家族情報の共有と支援状況の確認 ・子の身体状況についての共有と今後の方向性について確認
	R5.11.30(木) 丸子地域 自治センター 13:30~15:00	リストの提供と 情報共有 介護分野学習会	・丸子地域包括支援センター ・武石地域包括支援センター ・丸子地域自治センター (障害担当係長)、(高齢者担当係長) ・武石地域自治センター (障害者担当)、(高齢者担当) ・基幹相談支援センター	・介護保険移行対象者リスト共有 ・介護保険制度学習会
	R5.12.8(金) 上田市 ふれあい 福祉センター 10:00~11:00	・子(障害)、 親(介護) ・親の退院に当た るの各分野別の 支援状況の見立て と共有	・親 介護支援専門員 ・子 相談支援専門員 ・丸子地域包括支援センター ・基幹相談支援センター	・親に退院に当たっての支援状況の共有 ・緊急時における連絡方法の確認及び 支援体制の共有 ・年末年始の緊急連絡先の確認
	R5.12.25(月) 自宅 10:00~11:30	個別支援 同行訪問	・丸子地域包括支援センター ・基幹相談支援センター	・退院後の生活状況の確認 ・在宅での支援についての意思確認
武石包 括	R5.6.12(月) 千曲荘病院 15:00~16:30	退院に向けての 支援会議	・娘 ・武石自治センター市民サービス課 ・相談支援専門員 ・基幹相談支援センター	・本人の入院中の様子 ・退院に向けて
	R5.6.28(水) 丸子地域 自治センター 13:30~15:00	リストの提供と 情報共有	・丸子地域包括支援センター ・武石地域包括支援センター ・丸子地域自治センター (障害担当係長)、(高齢者担当係長) ・武石地域自治センター (障害者担当)、(高齢者担当) ・基幹相談支援センター	・顔合わせ ・介護保険移行対象者リストの共有 ・リストに無い方、気になるお宅の共有 ・連携や相談の方法、課題について意見 交換 ・次回会議(勉強会)について
	R5.11.30(木) 丸子地域 自治センター 13:30~15:00	リストの提供と 情報共有、介護分 野学習会	・丸子地域包括支援センター ・武石地域包括支援センター ・丸子地域自治センター (障害担当係長)、(高齢者担当係長) ・武石地域自治センター (障害者担当)、(高齢者担当) ・基幹相談支援センター	・介護保険移行対象者リスト共有 ・介護保険分野学習会
東御 市	R5.10.19(木) 東御市総合 福祉センター 19:00~20:30	東御市多職種 連携会議	・東御市福祉課福祉援護係 ・東御市高齢者係 ・東御市子どもサポート課 ・東御市保育課 ・東御市学校教育課 ・基幹相談支援センター	・地域課題の共有 ・居宅介護の現状と課題について ・グループワーク
	R5.11.24(金) 東御市総合 福祉センター 13:30~15:00	東御市民間介護・ 福祉事業所連絡 会 研修会	・東御市福祉課福祉援護係 ・東御市これ医者係 ・東御市包括支援センター ・東御市民間介護事業所 ・東御市福祉事業所 ・基幹相談支援センター	・研修「介護支援専門員と相談支援 専門員の違いについて」 ・制度説明 ・グループワーク

	日時 場所・時間	実施目的	参加者（参加機関）	実施内容記録
長和町	R5.5.1（月） 長和町庁舎 9：30～10：30	長和町障がい福祉ネットワーク会議	<ul style="list-style-type: none"> ・長和町町民福祉課（障がい福祉・高齢介護） ・保健師 ・山の子学園共同村 ・生活介護事業所わいわい ・相談（とらいあんぐる） ・放デイ（わくわく） ・依田窪福社会（相談等） ・基幹相談支援センター 	ケース進行状況の確認と検討
	R5.9.4（月） 長和町庁舎 9：30～10：30	長和町障がい福祉ネットワーク会議	同上	ケース進行状況の確認と検討
	R6.2.5（月） 長和町庁舎 9：30～10：30	長和町障がい福祉ネットワーク会議	同上	ケース進行状況の確認と検討
青木村	R5.11.10（金） 青木村庁舎 10：00～11：00	青木村地域包括ケアシステム運営委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・青木村住民福祉課住民福祉係 ・青木村保健衛生係保健師 ・青木村地域包括支援センター ・ラポートあおき ・ヒューマンネットながの ・相談支援事業所あおき ・たんときッズあおき ・千曲荘病院 PSW ・安藤病院 PSW ・基幹相談支援センター 	<ul style="list-style-type: none"> ・60歳以上の障害福祉サービス利用者の状況について ・情報共有・意見交換 ・その他

（令和4年度の振り返りより）

令和5年度に向けて（上田市10包括支援センターとの事前打ち合わせでの、今後に向けた課題・意見集約）

- ・定例の介護保険移行者リストの確認と事前打ち合わせは、全ての包括支援センターで実施
- ・顔の見える関係作りから、各包括支援センター内において多職種連携による個別支援会議の開催が推進された。（実績、13回の個別支援会議の開催）
- ・包括支援センター同士の連携により、研修会（事例報告・グループ討議）などの学習会の展開があった。
- ・上田市においては、10包括エリアがあることから、全体会として年3回の対面での会議とグループによる意見交換の機会を実施することが出来た。
- ・介護保険移行者のWケアマネ（要介護認定の障害者）については、居宅介護事業所のケアマネジャーとの連携が必要であり、コロナ禍の明ける次年度は、介護支援専門員連絡協議会との連携の在り方の検討や合同研修会が、コロナ禍で延期となってきたことを踏まえ、開催の企画を検討していく。
- ・障害分野においては、居宅介護（家事支援）のサービス提供が、人材不足から調整が難しい地域が始めている状況があるため、次年度は事業者実態を把握するアンケート調査を実施し、圏域状況を把握することで、第7期障害福祉計画へ反映したい。

令和6年度に向けた、第3回全体会までの集約（上田市10包括支援センターとの連携会議などの意見集約）

- ・障害分野と高齢分野の合同研修の企画・運営並びに、包括エリアでの共同連携研修など、研修の機会が多くみられた。
- ・職域会議での検討などから、全体会の持ち方に関する意見が聞かれた。
- ・連携に向けた情報共有から発展し、各地域包括エリアでの多職種連携に向けた個別支援会議や同行支援などの連携の機会が多く見られた。
- ・防災については、自治会毎の要支援者マップでの把握にとどまっている地域が多く、包括ごとのBCPが必要かもしれない。
- ・包括が高齢者の支援に入った際に、引きこもりや障がいの疑いがある家族に出会うことがある。障がい者支援課と高齢者介護課だけでなく健康推進課との連携も望まれる。

医療的ケア児等支援連携推進委員会 年度報告

テーマ	1 医療的ケア児者の避難行動要支援者名簿更新（10月） 2 医療的ケア児等支援者スキルアップ研修（仮称）への協力 3 医療的ケア児等総合支援事業への医療職の人材育成と支援体制の整備 4 上小圏域第7期障害福祉計画に向けて医療的ケア児者の課題整理 5 発達支援とインクルーシブ支援場所の実践状況や情報共有 ※医療的ケア児者の災害時個別避難計画作成に向けた実践
上小圏域第6期障害福祉計画重点施策の該当項目	○医療的ケア児を支援する児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所の確保を図ります。

■活動予定（運営委員会での活動状況の確認会議）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
会議		会議			会議		会議			会議	

■活動内容

月	活動概要
事務局会議 4月20日	令和5年度のテーマ確認と委員会運営方法について 場所：上田市役所
第1回 6月27日	1. 本年度事業計画の説明（全体会議） 2. 令和4年度訪問看護ステーションアンケート調査（課題）の整理と検討 3. 第3期障害児福祉計画（第7期障害福祉計画含む）の検討 場所：丸子ふれあいステーション
第2回 9月13日	（前半）令和6年度の医療的ケア児等総合支援事業の状況と令和6年度の事業に向けて （後半）1. 医療的ケア児者の避難行動要支援者名簿更新について（8月集計） 2. ごきげんスペース令和6年度予定について 医療的ケア児等総合支援事業研修について 3. 上小圏域における医療的ケア児者の支援課題の共有 4. 第49回圏域協議会本会への委員会中間報告のまとめ 場所：丸子ふれあいステーション
第3回 11月5日	医療的ケア児等支援者スキルアップ研修の実施 笑顔で築く信頼関係～ユーモアコミュニケーションの体験～ 講師：清泉女学院短期大学幼児教育課教授（道化師）塚原成幸氏 場所：ひとまちげんき・健康プラザうえだ
第4回 2月14日	1. 上田市の小中学校における医療的ケアについて 2. 令和5年度上小圏域医療的ケア児等コーディネーター活動報告 3. 令和5年度上小圏域医療的ケア児等総合支援事業報告 4. その他情報交換 場所：上田保健福祉事務所南棟2階
臨時	臨時コア委員会 委員会前の事務局会議 令和6年度事業に向けた圏域市町村との協議など

■考察・来年度に向けて

医療的ケア児等への支援課題の解決に向けて、今年度から対面による委員会が開催でき、関係機関の支援者との情報共有や意見交換などの機会を持つことができた。

令和4年度からスタートした医療的ケア児等総合支援事業における研修会の開催や、医療的ケア児等の受入れ支援の状況など活動の報告・振り返りを踏まえ、来年度も引き続き事業を実施していくとともに、上田市つむぎの家の移転や「医療的ケア児等災害対応サポート事業」など、新たな取組、事業展開等により、上小圏域の医療的ケア児等への支援体制の強化・拡充を図っていく。

来年度に向けては、個別のケースを委員会内で情報共有していく中で、支援の糸口を積み重ねることを目指し、本年度の課題の整理を行い来年度計画に反映したい。

■参加機関

医療機関	病院(医師・MSW・OT・PT・ST等) 訪問看護ステーション
福祉事業所	医療的ケア児者への通所・短期入所事業所 訪問入浴サービス事業所 居宅介護支援事業所 相談支援事業所(重症心身障がい児者担当者)
行政機関	長野県上田保健福祉事務所福祉課 長野県上田保健福祉事務所健康づくり支援課 市町村障害福祉児童担当者
行政機関(保健師)	市町村健康推進課保健師
委員長	上田市障がい者支援課
事務局	上小圏域基幹相談支援センター 医療的ケア児等コーディネーター

令和5年度医療的ケア児等総合支援事業報告

ごきげんスペースうえだ
管理者 市川美穂

(事業内容)

- (1) 事業所等における看護職員等の配置（「医療的ケア児等コーディネーター」の配置）
 ア 事業所等における医療的ケア児への医療的ケア等の実施
 イ 医療的ケア児とその家族等への支援（相談支援・レスパイト・きょうだい支援等）
 ウ 医療的ケアに従事する看護職員等への医療的ケア等の支援者の育成
 エ その他、市町村が必要と認めた事業
 (2) 事業所等への医療的ケア等を行う看護職員の派遣

(1) 事業所等における看護職員等の配置（「医療的ケア児等コーディネーター」の配置）

- ・看護職員兼管理者1名、相談管理者1名の計2名を医療的コーディネーターとして配置
(2024年1月末現在)
- ・事業所配置職員

職 種	人 数
看護師	5名
リハビリ (PT)	3名
保育士	2名
学校教諭	2名
サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者	1名
相談支援専門員	1名
支援員	1名

ア 事業所等における医療的ケア児への医療的ケア等の実施 (2024年1月末現在)

	令和6年度	令和5年度
登録利用者数	28名 (24名)	20名 (18名)
上田市	26名 (22名)	18名 (16名)
東御市	1名 (1名)	1名 (1名)
青木村	1名 (1名)	1名 (1名)
児童発達支援	10名 (9名)	5名 (5名)
放課後等デイサービス	12名 (10名)	11名 (9名)
生活介護	6名 (5名)	4名 (4名)
	放課後より生活へ	

() 内は医療的ケア児者

医療的ケアの状況

医療的ケアの内容	令和6年度	令和5年度
人工呼吸器	3名 (1名)	2名
気管切開カニューレ・人工鼻管理	8名	6名
酸素管理 (酸素ボンベ・モニタリング・酸素濃縮器)	3名	2名
気管内吸引	8名	6名
口鼻腔吸引	14名	10名
経鼻胃管管理・注入	4名	3名
胃ろう管理・注入	14名	10名
血糖管理 (血糖測定・リブレ管理・低血糖対応・インスリン注射等)	2名	2名
けいれん・てんかん発作等の対応 (観察・座薬等)	8名	7名
膀胱瘻・導尿	2名	0名

イ 医療的ケア児とその家族等への支援（相談支援・レスパイト・きょうだい支援等）

- ・みんなてごきげん（保護者サロン）

回	開催日	テーマ	講師
第3回	令和5年5月14日 （日曜日） 13時30分～15時	みなさんどんなサービスをおつかい ですか？	ごきげん相談室 宮原あき 株式会社Halu「IKOキッズウェア デレクター」河井さん
第4回	令和5年8月27日 （日曜日） 13時30分～15時	たまには、おいしいものを食べてお しゃべりしましょう	
第5回	令和5年12月10日 （日曜日） 13時30分～15時	体をほぐして、ゆったりしよう！ ～ほぐそうシリーズ第一弾～	ごきげん PT 斉藤暁

第5回からは、圏域の医療的ケアのあるお子さんをお持ちの保護者様にも、保健師さんや相談員の方よりお誘いいただきました。2名の方が参加予定でしたが、都合や体調不良で残念ながら不参加となりました。

・相談支援

利用者さんの変化（身体・精神的）があった時など相談アドバイス
支援会議への参加 25回

・レスパイト・きょうだい支援

定期利用日以外にも、きょうだいの保育園、学校行事、受診など希望があれば受け入れを行う。
兄弟、家族の受診や体調面での相談等に応じる。

ウ 医療的ケアに従事する看護職員等への医療的ケア等の支援者の育成

・研修の開催

テーマ「笑顔で築く信頼関係～ユーモアコミュニケーションの体験～」

上小圏域医療的ケア児等総合支援事業

開催日 令和5年11月5日

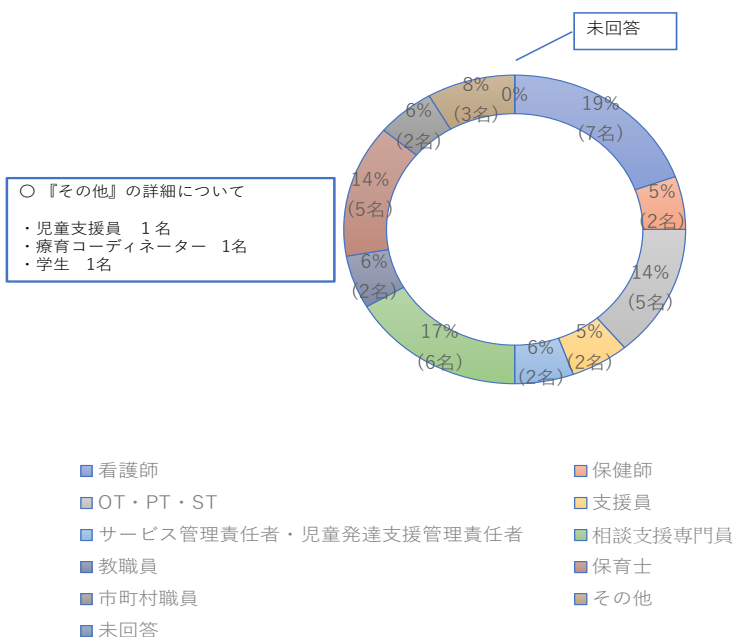
講師 清泉女学院短期大学教授の 塚原成幸氏

参加者 37名（欠席10名）

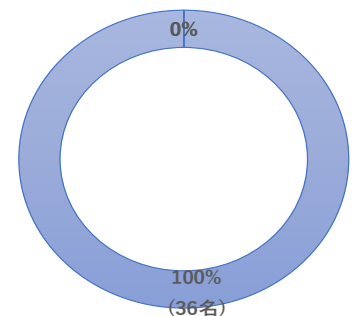
圏域内 31名 圏域外（長野市、駒ヶ根市等）5名

アンケート結果（提出36名）

4. 職種



5. 本日の研修会に関するご感想をお聞かせください

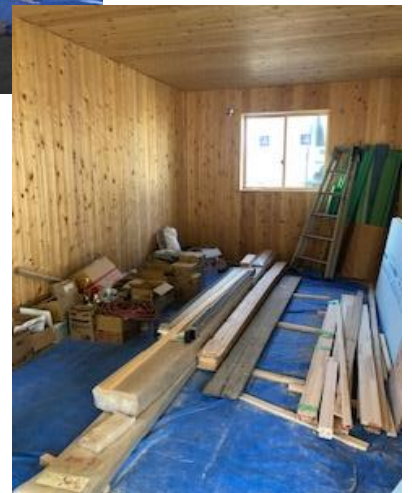


■よくわかった ■わからなかった ■どちらでもない

- ・上田養護学校学校看護師（2名）との連携
夏休み・冬休みにごきげんスペースうえだの臨時職員として勤務を行った。
養護学校生徒を中心に医ケア、療育、リハビリについて情報交換・提供を行った。
- ・利用者様の共通ノートにて他事業所と情報交換、提供、共有を行った。（3名）
- ・事業所看護職員研修
研修内容 バイタルサインについて
小児、重症心身障がい児者に対する看護経験が少ないため、手技獲得ができるように事業所内研修を行った。
- ・上田市つむぎの家との連携
共通利用者さんのごきげんスペースでの様子の見学（8月）
つむぎの家のサビ管・看護師とごきげんスペースうえだの管理者（看護師）、サビ児管と懇談を行った。

エ その他、市町村が必要と認めた事業

- ・ごきげんスペース相談室（相談支援事業所）を令和5年2月に開設
利用者様の情報共有やきめ細かい支援につながっている。
＊詳細は宮原管理者（相談支援専門員兼圏域の医療的ケア児等コーディネーター）より
- ・医療的ケア児等支援連携推進委員会、医療的ケア児等コーディネーター連絡会、小児在宅をつなぐ会への参加
- ・新事業所（仮称「ごきげんスペースⅡ」）の開設準備
令和5年度の長野県社会福祉施設等整備事業補助金の活用により整備
令和6年3月完成、4月より施設利用開始予定（全体の定員は5名で変わらず）
ミスト浴槽設置予定
現事業所については有効活用の方法を検討中



(2) 事業所等への医療的ケア等を行う看護職員の派遣

派遣先：上田いずみ園

派遣期間：令和5年5月17日（水曜日）10時から11時30分まで（母親・看護師）
7月18日（火曜日）10時から11時30分まで（看護師・サビ児管）
9月8日（金曜日）10時から11時30分まで（看護師）

対象児童：T様 3歳10か月（児童発達支援）

先天性高インスリン血症

週4回ごきげんスペースうえだ利用（月・火・木・金）

医療的ケア：リブレによる血糖コントロール 血糖値実測

経管栄養管理・血糖値に合わせてラコール・エネーボ等注入

9月以降体調不良や、感染症流行などにより登園は中断している状況

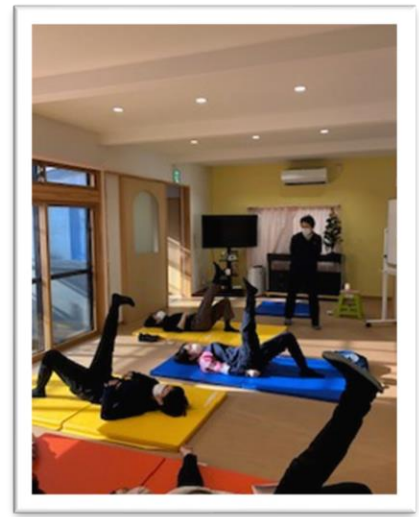
第3回みんなでごきげん



第4回みんなでごきげん



第5回みんなでごきげん



医療的ケア児等コーディネーター活動報告

【1】上小圏域医療的ケア児等コーディネーターの配置について

令和3年4月より上小圏域に2名の医療的ケア児等コーディネーターが配置され、令和4年4月より上小圏域医療的ケア児等総合支援事業の実施により、1名増えて3名の配置となる。

【2】上小圏域の医療的ケア児(18歳未満)の状況(R5.8.31現在)

市町村 年齢	上田市	東御市	青木村	長和町	上小圏域の 医療的ケア児合計
～1才未満	2	0	0	0	
1～6歳	20	2	0	1	
7～12歳	7	3	1	0	
13～17歳	5	1	1	1	
合計	34	6	2	2	44名

【3】介入ケース ()は相談支援に移行して継続

市町村 年齢	上田市	東御市	青木村	長和町	介入ケース合計
～1才未満	1	0	0	0	
1～6歳	3(12)	2	0	1	
7～12歳	(5)	0	1	0	医療的ケア児等 コーディネーター 介入ケース
13～17歳	1(2)	1	(1)	1	
合計	24	3	2	2	11名

【4】医療的ケア児等コーディネーター介入ケース詳細

※相談支援に移行したケースは除いています。

No	氏名	年齢	医療的ケア	状況
1	A様	17	喀痰吸引・胃瘻	医療型障害児施設に入所中。 在宅生活に向けて関係者と検討
2	B様	17	気管切開・人工呼吸器 喀痰吸引・胃瘻	卒業後の生活について検討
3	C様	12	胃瘻・気管切開・喀痰吸引	ごきげんスペースうえだ利用
4	D様	7	喀痰吸引	ごきげんスペースうえだ利用
5	E様	6	胃瘻・喀痰吸引	圏域外私立保育園在籍。R6.4 養護学校就学予定。副学籍で地域小学校に通学予定。
6	F様	5	胃瘻・喀痰吸引	児童発達支援センター在籍、ごきげんスペースうえだ利用
7	G様	4	胃瘻・気管切開 喀痰吸引・人工呼吸器	児童発達支援センター在籍。体調不良によりなかなか通園することが出来ないため、居宅訪問型移動発達支援に切り替えて利用。
8	H様	2	経鼻経管栄養・喀痰吸引 在宅酸素	在宅生活。保健師と定期訪問し状況確認
9	I様	1	経鼻経管栄養	在宅生活。保健師と定期面談し状況確認
10	J様	1	経管栄養	R5.5月家庭訪問 その後、保健師と情報共有
11	K様	0	経管栄養	在宅生活。保健師と定期訪問。児童発達支援センター、児童発達支援事業所見学

【5】その他、活動内容

- ・医療的ケア児等支援連携推進委員会参加
- ・医療的ケア児等コーディネーター連絡会参加
- ・小児在宅医療をつなぐ会参加

【6】課題

- ・主介護者が感染症に罹患したときのご本人への支援体制の不足
- ・保護者の就労に伴う、医療的ケア児の預け先の不足
- ・卒業後の日中活動、生活の場の不足

権利擁護委員会(虐待・権利) 年度報告

テーマ	<ul style="list-style-type: none"> 1 「障がい者虐待の防止、障がい者の養護者に対する支援に関する法律（障がい者虐待防止法）」圏域内研修の企画・運営 2 上小圏域内虐待案件の検証の企画 3 事業所内虐待防止研修の推進
上小圏域第6期障害福祉計画重点施策の該当項目	○地域包括エリアごとに協議検討を積み上げ、多職種及び地域住民の連携システムを構築します。

■活動予定

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	委員会	研修			委員会				委員会	委員会	

■活動内容

月	活動概要
第1回 5月18日	<p>年間計画の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. 圏域内障がい者虐待防止センター及び基幹相談支援センター虐待防止・権利擁護研修の企画 2. 圏域内虐待案件の検証について日程確認 3. 事業所内虐待防止研修の推進について <p style="text-align: right;">場所：上田市ふれあい福祉センター2階 市民ホール</p>
研修 6月15日 21日	<p>圏域内障がい者虐待防止センター及び基幹相談支援センター虐待防止・権利擁護研修</p> <p>【参加者】市町村虐待防止センター職員、上田保健福祉事務所福祉課担当職員、上小圏域成年後見センター担当職員、就業・生活支援センター職員、基幹相談支援センター職員</p> <p>【時間】18：30～20：30</p> <p>【講義】※動画配信により事前視聴 障がい者虐待防止法の概要、面接技法やアセスメントについて</p> <p>【演習】事例を通してグループワーク コア会議（事実確認を行うための協議）～事実確認調査～終結に向けて</p> <p>【参加人数】1日目：22人、2日目：25人（委員含む）</p> <p style="text-align: right;">場所：上田市ふれあい福祉センター2階 大会議室</p>
第2回 9月19日	<ul style="list-style-type: none"> 1. 圏域内障がい者虐待防止センター及び基幹相談支援センター虐待防止・権利擁護研の振り返りと次年度の開催方法についての意見交換 2. 圏域内虐待案件の検証実施方法についての確認 ⇒県自立支援協議会の権利擁護部会事務局担当者アドバイザーとしての参加を依頼する。 <p style="text-align: right;">場所：上田市ふれあい福祉センター2階 市民ホール</p>

<p>第3回 1月24日</p>	<p>上小圏域内虐待案件の検証</p> <ol style="list-style-type: none"> 障がい者虐待における県下の状況について 県権利擁護部会事務局田中祐多氏より、R5.1.18公表の県資料「R4年度における障がい者虐待の状況等」を中心として、近年の県下や全国的な傾向等を報告いただく。 事例検証 上田市：1件、東御市：1件 虐待認定をしなかったケースについての共有 上田市：19件 R5年度（4月～12月）圏域内障がい者虐待通報に関する状況と事業所の虐待防止に向けて 圏域内の12月末までの相談通報状況についてのまとめと考察を報告。 場所：上田市ふれあい福祉センター2階 市民ホール
<p>第4回 2月16日</p>	<ol style="list-style-type: none"> 虐待案件の検証振り返り 障がいを理由とする差別の禁止に関する報告について 次年度に向けての意見交換 <p>場所：上田市ふれあい福祉センター2階 市民ホール</p>

■考察・来年度に向けて

圏域内研修の企画・運営については、来年度も継続して年度の早い時期に開催予定。今年度の振り返りから、講義部分は今年度同様事前視聴の形を取り、研修当日は演習を中心として進めていく。開催方法や内容については、委員からの意見をもとに事務局を中心に検討をする方向性。

圏域内虐待案件の検証については、来年度も継続実施していく必要性を確認。報告の方法やまとめ方については、委員からの意見も踏まえて検討していきたい。相談・通報件数は増加傾向であり、全体として通報義務が地域に定着してきていることが伺える。その中で相談支援専門員が相談を受けるケースも増えてきており、今後は相談支援専門員に向けての虐待に関する相談があった場合の対応方法について研修等の機会を作っていきたい。

事業所内虐待防止研修の推進として、各事業所での虐待防止委員会の設置及び研修が義務化された中で、保健福祉事務所で行われる実地指導等の状況も踏まえつつアンケートの実施も検討。実際にどのような研修を行っているのか等を把握した中で、委員会として協力できる方法を考えていきたい。

■参加機関

<p>行政機関</p>	<p>上田市障がい者虐待防止センター 本庁・真田・丸子・武石 (上田市真田市民サービス課 係長) (上田市障がい者支援課 係長) (上田市丸子市民サービス課 係長) (上田市武石市民サービス課 係長) 東御市障がい者虐待防止センター (東御市福祉課 福祉係長) 長和町障がい者虐待防止センター (長和町町民福祉課 福祉係長) 青木村障害者虐待防止センター (青木村住民福祉課 福祉係長) 上田保健福祉事務所福祉課 福祉係長 上小圏域成年後見センター</p>
<p>部会長</p>	<p>真田地域自治センター 市民サービス課 係長</p>
<p>事務局</p>	<p>上小圏域基幹相談支援センター</p>

権利擁護委員会(差別解消) 年度報告

テーマ	誰もが生活しやすい地域(共生社会)を実現するための啓発活動の推進を図る。 ① モッシュュ!企画・運営 ② 関係機関・団体とのイベント企画・運営
上小圏域第6期障害福祉計画重点施策の該当項目	○ 地域包括エリアごとに協議検討を積み上げ、多職種及び地域住民の連携システムを構築します。

■活動予定

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	委員会	委員会		委員会						委員会	

■活動内容

月	活動概要
第1回 5月18日	令和5年度 活動計画 1. 市町村主宰のイベント情報の共有 2. モッシュュ!イベントについて 場所：上田市ふれあい福祉センター
6月21日 22日	丸子地域民生委員児童委員協議会 学習会 『障がい者の権利擁護～差別解消法について～』 場所：丸子保健センター・長瀬公民館
9月28日	東御市児童民生委員協議会 学習会 『発達障がいについて～地域で支える…を考える～』 場所：東御市福祉センター
10月13日	日置電機(株) 社員向け福祉教育(上田市社会福祉協議会との共催)     場所：日置電機(株)

第2回 2月16日	1. 令和5年度 権利擁護委員会（差別解消）活動の振り返り 2. モッシュ！のあり方について意見交換 場所：上田市ふれあい福祉センター2階
随時	市町村や他機関からの障がい理解周知等のイベント共催依頼への協力

■考察・来年度に向けて

これまでは子どもたちに向けて障がい理解を深め、誰もが暮らしやすい地域をつくる人材育成の機会としてモッシュ！の活動を行ってきたが、今年度は児童・民生委員の方々や企業への障がい理解の普及が主な活動になった。ワークショップを取り入れる内容にしたことで、身近なこととして障がいを捉える機会となった。今後も防災などの地域活動とリンクした普及啓発をしていくことが有効と考える。

モッシュ！として、活動を継続していくことは圏域にとって有意義なことと考えるが、権利擁護委員会で差別解消について協議することの土台作りを検討したい。

■参加機関

福祉関係機関	上田市社会福祉協議会
当事者団体	手をつなぐ育成会、東信 ASDA 他
教育機関	長門小学校、和田小学校
行政機関	上田市障がい者支援課 東御市福祉課 長和町町民福祉課 青木村住民福祉課
部会長	真田地域自治センター 市民サービス課 係長
事務局	上小圏域基幹相談支援センター

療育・発達専門部会 年度報告

テーマ	1 障がい児の緊急時支援体制の周知 2 強度行動障がい児・者支援強化（研修企画・コアチーム）
上小圏域第6期障害福祉計画重点施策の該当項目	○障がい児の緊急時支援体制や放課後及び長期休暇中の支援基盤（放課後等デイサービスなど）の整備と支援の質の向上を図ります。 ○医療的ケア児を支援する児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所の確保を図ります。 ○療育支援の充実とともに、強度行動障がい児・者のサービス提供事業所の体制整備に向け協議の機会を作ります。

■活動予定

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	部会	研修			部会	研修 ワ			ワ	部会	ワ

※ワ：ワーキング

■活動内容

月	活動概要
第1回 5月15日	【部会】 1. 顔合わせ・令和5年度の療育発達専門部会について 2. 障がい児の緊急時支援体制について 3. 『児童の福祉サービスのご案内』の見直し 4. 子ども家庭庁創設にあたり確認と意見交換 5. 強度行動障がい児・者 支援対象者への講義と実践報告について 場所：上田市ふれあい福祉センター2階 市民ホール
第2回 6月30日	【研修】 強度行動障がい児・者の方への対応（講義） NPO 法人たんと。飯島尚高氏 参加者：61名（児童発達管理責任者・相談支援専門員・行政） 場所：上田市ふれあい福祉センター2階 大会議室
第3回 9月12日	【部会】 1. 放課後等デイサービス事業所対象に障がい児者の緊急支援体制についての説明 ・上田市障がい者支援課 山田氏 2. 障害児支援施策の動向について解説 ・たんとキッズあおき 所長 飯島 尚高氏 場所：上田市役所2階
第4回 10月4日	【研修】 強度行動障がい児・者の方への対応（実践報告） NPO 法人たんと。飯島 尚高氏 上田養護学校 行動支援対応リーダー 原 伸生 先生 参加者：47名（児童発達管理責任者・相談支援専門員・行政） 場所：上田市西部公民館
10月17日	【ワーキング】 1. 今後の進め方について 2. 圏域内の状況の共有等 場所：上田市ふれあい福祉センター2階 市民ホール
1月19日	【ワーキング】 1. 行動障がいがある児童の家族支援をテーマにした事例検討 2. 児童の緊急体制についての意見交換 3. 行動援護に関わる事業所の現状について

	場所：上田市ふれあい福祉センター2階 市民ホール
第5回 2月7日	【部会】 1. 報酬改正に伴い圏域内の障がい児支援の体制について意見交換 2. 令和5年度 強度行動障がい児・者支援連続研修と実践報告会 振返り 3. 令和5年度 人材育成専門部会 振返り 場所：上田市ふれあい福祉センター2階 市民ホール
3月15日	【ワーキング】 1. 強度行動障がい児・者支援専門チームの役割について 2. 強度行動障がい児・者の意思決定と権利擁護についての意見交換 3. 令和5年度強度行動障がい児・者支援専門チームワーキング 振返り 場所：上田市ふれあい福祉センター2階 市民ホール

■考察・来年度に向けて

【部会】	<p>前年度からの流れもあり、圏域内のサービス提供事業所支援者を対象に、強度行動障がい児・者の支援をテーマにした研修会を開催した。放課後等デイサービス事業所からの参加者が多く、その結果、障がい児支援のスキル向上の意識づけとなった。今後更に、具体的な支援方法やアセスメントスキルに課題があると抽出できた。</p> <p>国の障害児支援施策の動きに応じて、これまでの障がい児の支援体制について、再度見直しをしていくことが必要となった。</p>
【ワーキング】	<p>強度行動障がい児・者支援専門チームが設置できたことは、圏域内の強度行動障がい児・者の支援体制構築や支援スキルの向上目指す上で大きな一歩となった。今後、このチームの活動が定着し、圏域の資源になるようすすめていく。</p> <p>1ケースだけではあるが、事例検討を実施。圏域内の行動援護事業所が数年来増えていないこと、ショートステイの利用がしにくい現状、児童の緊急体制整備が十分でないことが浮き彫りになった。在宅で生活している強度行動障がい児・者の生活実態を掴むことを検討していきたい。</p>

■参加機関（部会）

行政機関	上田市障がい者支援課、上田市発達相談センター 上田市真田地域自治センター市民サービス課 上田市丸子地域自治センター市民サービス課 上田市武石地域自治センター市民サービス課 東御市福祉課 長和町町民福祉課 青木村住民福祉課
部会長	青木村住民福祉課 係長
副部会長	上田市障がい者支援課 係長、東御市福祉課 係長
事務局	上小圏域基幹相談支援センター

■参加機関（コアメンバー）

福祉事業所	NPO 法人たん。たんときっずあおき NPO 法人シャイン 社会福祉法人かりがね福祉会 ミライエ 社会福祉法人りんどう信濃会 上田悠生寮 社会福祉法人樺ノ木福祉会 山の子学園共同村 社会福祉法人上田明照会 ともいきライフ住吉
部会長	青木村住民福祉課 係長
事務局	上小圏域基幹相談支援センター

令和5年度

地域生活移行専門部会 年度報告

テーマ	1 長期入院患者等の地域移行に関する取り組み（医療機関等との体制整備の強化） 2 精神障がい者ピアサポートに関する取り組み（ピアサポートのスキルアップ） 3 居住確保に関する取り組み（多職種連携の推進）
上小圏域第6期障害福祉計画重点施策の該当項目	○地域移行支援の推進と同時に、共同生活援助等の夜間支援体制の充実を図ります。

■活動予定

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	ピ	部会 病	病	ピ 病	部会	ピ	ピ	住	病 ピ	部会	
ピ…ピアの集い(勉強会も含む) 病…精神科病院訪問 住…居住確保											

■活動内容

月	活動概要
5月29日	第1回ピアサポート基礎研修受講者の集い 参加者) 受講者、関係者、事務局 内容) 今年度の活動について、交流等 場所: 合同庁舎講堂
第1回 6月12日	今年度の計画について 1. 長期入院患者等の地域移行に関する取り組み 2. 精神障がい者ピアサポートに関する取り組み 3. 居住確保に関する取り組み 場所: 合同庁舎南棟
6月13日	精神科病院訪問①千曲荘病院 参加者) 医療法人友愛会 上田市高齢者介護課 部会員 事務局 内容) 地域移行推進委員会との話し合い 長期入院されている地域の方との面会 意見交換 など 場所: 千曲荘病院
6月23日	精神科病院訪問②メンタルサポートそよかぜ病院 参加者) 医療法人清泰会 上田市高齢者介護課 部会員 事務局 内容) 地域の方との面会 長期入院されている地域の方の情報共有 意見交換など 場所: メンタルサポートそよかぜ病院
7月3日	精神科病院訪問についての話し合い 参加者) 医療法人友愛会 4名 事務局 3名 内容) 今後の訪問についての打ち合わせ 場所: 千曲荘病院
7月14日	精神科病院訪問③安藤病院 参加者) 医療法人慈善会 上田市高齢者介護課 部会員 事務局 内容) 地域の方の情報共有 意見交換など 場所: 安藤病院
8月1日	住宅関係者との話し合い 参加者) 長野県宅地建物取引業協会上田支部 3名、事務局 3名 内容) 合同勉強会へ向けての話し合い 場所: 長野県宅地建物取引業協会上田支部本部
8月8日	精神科病院訪問④千曲荘病院 参加者) 医療法人友愛会 部会員 事務局 内容) 前回面会後の状況について など 場所: 千曲荘病院

8月28日	住宅関係者との話し合い 参加者) 公益社団法人全日本不動産協会長野県本部上田地区役員、事務局3名 内 容) 合同勉強会に向けての話し合い 場所: 株式会社イズミダ
8月28日	第2回ピアサポート基礎研修受講者の集い(上小ピアサポートの会こもれび) 参加者) 受講者、関係者、事務局 内 容) 交流、これからの活動について等 場所: 合同庁舎601、602会議室
第2回 9月22日	1. 長期入院患者等の地域移行に関する取り組み(振り返りと本会へ向けて) 2. 精神障がい者ピアサポートに関する取り組み(報告) 3. 居住確保に関する取り組み(勉強会に向けて) 場所: 合同庁舎南棟
10月16日 23日	ピアサポート基礎研修受講者の勉強会 参加者) ピアサポートの会こもれび 部会員 その他希望する者 内 容) WRAPについて 講 師) 荻野紅葉氏 精神保健福祉士 場所: 合同庁舎6階講堂
10月18日 19日	ピアサポートの活動 参加者) ピアサポート1名、支援者1名、事務局1名 内 容) 上田市民生委員・児童委員協議会 ・ピアサポートについて ・ピアサポートによる体験談 勝見和幸氏 ・質疑等 場所: 丸子ふれあいステーション3階会議室、長瀬市民センター大ホール
11月27日	第3回ピアサポート基礎研修受講者の集い(上小ピアサポートの会こもれび) 参加者) 受講者、関係者、事務局 内 容) 活動報告、WRAP勉強会の振り返り、情報交換等 場所: 合同庁舎 南棟2階
12月11日	住宅関係者との勉強会 参加者) 長野県宅地建物取引業協会上田支部、県および上小圏域内市町村公営住宅担当者、部会員 など 内 容) 障害のある人の住まいの現状について 意見交換 など 講 師) 合同会社KASUGA 春日聡氏 精神保健福祉士 相談支援専門員 場所: 合同庁舎6階講堂
1月9日	精神科病院訪問⑤千曲荘病院 参加者) 医療法人友愛会 部会員 事務局 内 容) 地域移行推進委員会との話し合い 長期入院されている地域の方との面会 意見交換 など 場所: 千曲荘病院
1月22日	第4回ピアサポート基礎研修受講者の集い(上小ピアサポートの会こもれび) 参加者) 受講者、関係者、事務局 内 容) 活動報告、情報交換、今後について 等 場所: 合同庁舎601、602会議室
1月26日	精神科病院訪問⑥メンタルサポートそよかぜ病院 参加者) 医療法人清泰会 上田市高齢者介護課 部会員 事務局 内 容) 地域の方との面会 長期入院されている地域の方の情報共有 意見交換など 場所: メンタルサポートそよかぜ病院
第3回 2月9日	活動報告および今年度の振り返り 1. 長期入院患者等の地域移行に関する取り組み 2. 精神障がい者ピアサポートに関する取り組み 3. 居住確保に関する取り組み 場所: 合同庁舎南棟2階

3月1日	住宅関係者との話し合い 参加者) 長野県宅地建物取引業協会 上田支部 3名、事務局 3名 内容) 合同勉強会のお礼と振り返り、来年度へ向けて 場所: 長野県宅地建物取引業協会 上田支部本部
3月1日	精神科病院への訪問について 参加者) 高齢者介護課 1名、事務局 3名 内容) 精神科病院への訪問のお礼とまとめの共有 場所: 上田市役所 高齢者介護課
3月4日	住宅関係者との話し合い 参加者) 公益社団法人 全日本不動産協会 長野県本部 上田地区 役員 1名、事務局 3名 内容) 合同勉強会のお礼と振り返り、来年度へ向けて 場所: 株式会社 イズミダ

■考察・来年度に向けて

- ①長期入院患者等の地域移行に関する取り組みでは、「地域（市町村）が地域住民である患者さんを迎えに行く意識を持ち、継続する定期訪問と面談の実現」を目的としてきた。コロナが5類になり、3か所の精神科病院への訪問が可能になった。病院スタッフの調整のお陰もあり、数名の退院希望の患者さん達との面会をさせていただけた。精神科病院への訪問は、部会として本会へ病院訪問への必要性について書面の提出をもって今年度を最終とした。引き続き、市町村から精神科病院への訪問が継続することを希望したい。来年度は、訪問中に課題となっていた、病院から気になる事例を提出していただき、事例検討へつなげていきたい。
- ②精神障がい者ピアサポートに関する取り組みについては、目的を「ピアサポートの横のつながりを広げる。ピアサポートの活躍」としてきた。昨年度と比べて、ピアの集いも人数が増え、活気がでて、ピアサポートの会の名前も付くことができた。また、勉強会を通じて、横のつながりもできつつある。ピアサポートの活躍の場は、民生委員・児童民生委員の協議会の活動へお声掛けをいただいたが、さらに活躍の場が広がることを来年度以降期待したい。
- ③居住確保に関する取り組みについては、目的を「貸す側も借りる側も安心して貸し借りできる関係づくり」とし、住宅関係者と福祉関係者で顔を合わせた勉強会を行った。前年度よりも時間をとり、グループワークも取り入れることができたため、活発な意見交換ができ、一部では疎遠になっていた不動産業者と相談支援専門員が改めてかかわりを持てたケースもあった。来年度も引き続き、顔を合わせた勉強会を通して関係づくりを目指したい。

■参加機関

福祉事業所	相談支援事業所 相談支援専門員 福祉サービス事業所 職員
医療機関	精神科病院 精神保健福祉士
行政機関	上小圏域内 市町村（保健）福祉関係課 担当者 上田保健福祉事務所 福祉課 担当者、健康づくり支援課 担当者
当事者団体	精神障がい者家族会
その他	住まいに関連する関係者団体、上田市 高齢者介護課、上小地区 障がい者施設連絡協議会、上田市 社会福祉協議会、上小ピアサポートの会 こもれび
部会長	長和町 町民福祉課 係長
事務局	長野県 上田保健福祉事務所 健康づくり支援課 上小圏域 基幹相談支援センター

上小圏域自立支援協議会 地域生活移行専門部会
病院訪問報告書

令和 6 年 2 月 9 日(金)

病院名

まとめにかえて

(医) 慈善会 安藤病院 (担当 部会員)

日時	7/14(金)11:00~12:30 訪問	内容	1、地域の方の情報共有 2、意見交換等
訪問者	高齢者介護課 上田市、保健所、事務局 2 名 計 5 名		・病棟は、精神科と一般病棟。65 歳以上が 9 割。 50 代 60 代の方でご両親の他界により、独居となり生活が乱れ救急入院になるケース、アルコール依存も増えてきている。そうなる前に支援があればよいと思うが、本人の拒否もあり、支援が入っていないケースがある。
対応	ソーシャルワーカー 4 名 計 4 名		・ 5 名の方の情報共有し、今後について意見交換。高齢者が多く、キーパーソンがいない方はどうしているのかなど、高齢者介護課からアドバイスをもらった。

(医) 清泰会 メンタルサポートそよかぜ病院 (担当 部会員)

日時	6/23(金)13:30~15:30 訪問	内容	1、長期入院されている地域の方の情報共有 2、地域の方との面会 3、意見交換等
訪問者	高齢者介護課 上田市、長和町、武石、事務局 3 名 計 7 名		・ 4 名の方の情報共有と、3 名の方と面会させていただいた。それぞれに退院へ向けての思いなどをお聞きした。ご担当者からは、普段聞けない話も聞いて良かったとの感想があった。
対応	精神保健福祉士 5 名 計 5 名		・ 病院としては、入院患者の 9 割が長期入院。高齢者は施設の空き待ちが多く、死亡による退院が増えている。中には、中学 3 年から入院し 80 代の方もいる。
日時	1/26 (金) 15:00~16:30 訪問	内容	1、入退院の状況の共有 2、長期入院されている地域の方の情報共有 (課題) 3、地域の方との面会
訪問者	高齢者介護課 長和町、上田市、武石、真田 事務局 2 名 計 7 名		・ 令和 2 年からの入退院の状況から、入院は、外来からの入院が多いが、転院による入院数も多い。また、退院は自宅が多いが、転院や高齢施設入所も多い。
対応	精神保健福祉士 3 名 計 3 名		・ 前回面会させていただいたり、情報共有させていただいた方々は、退院されたり、方向性が見出された。 ・ 5 名の方の情報共有と 1 名の方の面談をさせていただいた。

(医) 友愛会千曲荘病院 (担当 部会員)

日時	6/13(火)15:30~16:30 訪問	内容	1、地域移行推進委員会との話し合い 2、地域の方との面会 3、意見交換等
訪問者	高齢者介護課 上田市、丸子、東御市、事務局 3名 計 7名	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢の認知症患者は施設の受け入れはあるが、認知症と統合失調症の診断がある方の受け入れ先が無い。 ・面会は3名の方とさせていただいた。それぞれ、私たちに伝えたいことを考えて来ていただき、お話しさせていただいた。中には「退院したくありません」と話された方や、涙で言葉にならない方もいらっしゃいました。 	
対応	看護師 7名、作業療法士 2名、 精神保健福祉士 2名、 相談支援専門員 1名 計 12名		
日時	8/8 (火) 15:30~16:30 訪問	内容	1、地域移行推進委員会との話し合い 2、前回面会の方の現状 3、意見交換等
訪問者	上田市、東御市、事務局 3名 計 5名	<ul style="list-style-type: none"> ・各病棟で地域移行支援を継続されている方の共有。 ・前回面接後の状況については、地域から訪問したことで刺激となり今まで何も言わなかった方から「退院したい」との発言が増えた。担当医へも刺激となり院内での多職種会議へとつながった。 	
対応	看護師 6名、作業療法士 1名、 精神保健福祉士 1名 計 8名		
日時	1/9 (火) 15:30~17:00 訪問	内容	1、地域移行推進委員会との話し合い 2、意見交換 3、地域の方との面会
訪問者	上田市、東御市、丸子、事務局 3名 計 6名	<ul style="list-style-type: none"> ・長期入院患者の状況について共有。 ・病棟が感じている課題について共有と意見交換。 ・1名の方と面会。日中どの様に過ごされているか、退院したらやりたいことなどを教えていただいた。 ・6月に面会した方の状況として、2名の方の方向性が見出された。 	
対応	看護師 7名、作業療法士 1名、 精神保健福祉士 2名、 相談支援専門員 1名、 計 11名		

住宅確保に関する合同勉強会 アンケート結果

主催：長野県宅地建物取引業協会 上田支部
 上田保健福祉事務所
 上小圏域障がい者自立支援協議会 地域生活移行専門部会

開催日：令和 5 年 12 月 11 日(月)13:30～15:30

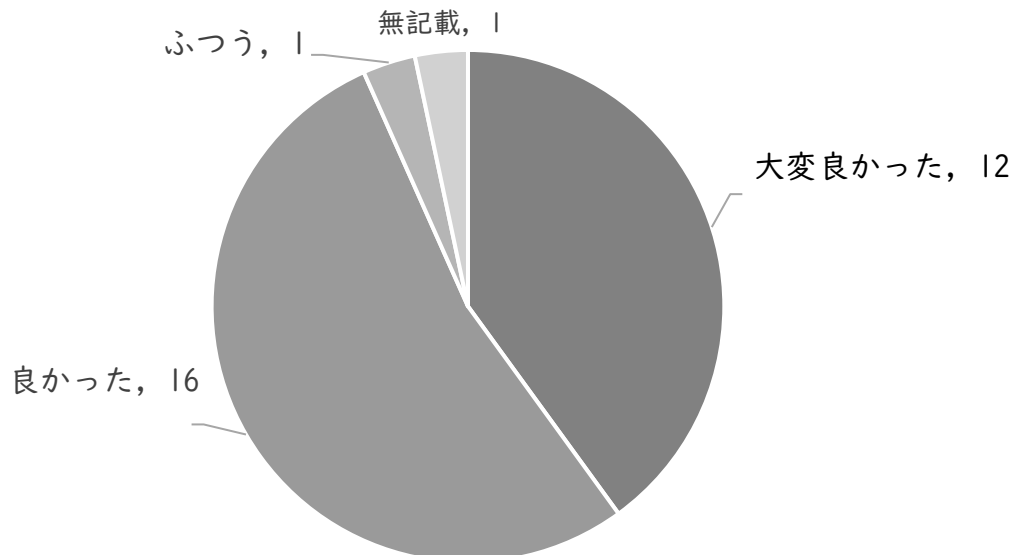
場所：上田合同庁舎 6階講堂

参加者：長野県宅地建物取引業協会、県および市町村公営住宅住宅課、
 公益社団法人全日本不動産協会長野県本部上田地区、
 上小地区障がい者施設連絡協議会、上田市生活就労支援センター、
 地域生活移行専門部会
 (参加人数 住宅関係者：12名 福祉関係者：9名 部会員：19名)

内容：①上伊那圏域の状況について～事例を通して～
 講師 春日 聡 氏 合同会社 KASUGA (精神保健福祉士 相談支援専門員)
 ②意見交換

1. 本日の講演はいかがでしたか。

大変良かった：12名 良かった：16名 ふつう：1名 無記載：1名



○意見の抜粋

- ・「モデルケースを作る…」ぜひやってみたい。
- ・情報の見える化、支援体制の見える化など改めて必要性を感じた。
- ・解釈の違いに気づいた。
- ・春日さんの話を聞き、やっていく中で色々話し合いをしていくことの必要性や、知らないことをそのままにしているとトラブルになってしまうので、改めて気を付けようと思った。

- ・具体事例がとても分かりやすくイメージできた。
- ・講師の春日さんの事例はとても分かりやすく、改めて顔の見える関係、情報共有の大切さを実感できた。
- ・入院していた障がい者の方のアパートへの地域移行の事例を聞き、一つの対応方法として連携の大切さを改めて実感できた。

2. 本日の研修会全体についてのご意見・感想等をお聞かせください。(抜粋)

- ・他業種の方と顔が合わせられる機会を設けていただきありがとうございました。福祉関係者だけでなく、色々な業種の方の意見が聞いて参考になった。
- ・テーマを絞った話し合いをしたらどうか。福祉（支援）の窓口をしぼってもらいたい。
- ・行政からの支援がもっと必要かと思う。
- ・不動産の定期借家契約があるなど初めて知れた。支援者に相談できれば安心すると言われ、環境を整えていくことが良いと思った。
- ・資料（事例は抜いて）があるとより良かったと思う。
- ・春日さんの実例を参考に説明をいただいてとても分かりやすかった。
- ・グループワークにて、宅建協会や住宅供給公社の仕事の内容やできることできないこと等についてある程度理解することができた。
- ・今後も継続して開催していただきたい。
- ・知らないことが聞いて良かった。
- ・講演、グループワークとも大変有意義だった。
- ・他業種の顔の見える関係が支援の厚みに繋がると思う。引き続きこのような機会がいただければと思う。
- ・初めて参加したが、関係者が集まる貴重な機会なので今後も参加したい。

3. 今後の精神障がい者地域生活支援研修会で取り上げて欲しいことや学びたい事があればお書きください。(抜粋)

- ・支援のスキーム、図など。
- ・ケースの共有が大変役に立ったので今後もお願いしたい。

4. まとめ

全体を通して、勉強会を好意的に受け止めていただき、継続を希望される意見が多かった。目的が「お互いが安心して貸し借りできる関係づくり」のため、顔の見える関係づくりが一歩進んだ勉強会となった。

また、勉強会を通して、裏テーマにある「精神障がい者への理解」も深まることも願っている。来年度も継続して、意見交換できる場面を作りたい。